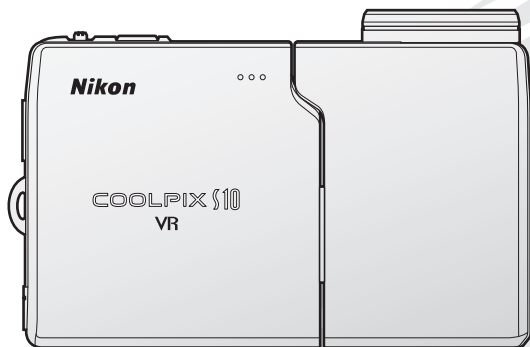
ニコンデジタルカメラ

COOLPIX S10

クールピクスS10

使用説明書

商標説明

ニコンデジタルカメラ COOLPIX S10をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

表記について

- SD メモリーカードを「SD カード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。

目次

テレビやパソコン、プリンターに接続する 73

いろいろな設定 85

付録 111

はじめに

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ **警告**（カメラについて）	
分解禁止	分解したり、修理や改造をしないこと 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
水かけ禁止	水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと 発火したり感電の原因となります。

⚠ **警告**（カメラについて）	
電池を取る すぐに修理依頼を	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
使用禁止	引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉じんの発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
発光禁止	車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと 事故の原因となります。

⚠ 警告（カメラについて）

発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。
 保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 警告	**指定の電池または専用 AC アダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
 使用禁止	**AC アダプターご使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

 感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
 保管注意	**使用しないときは、電源を OFF にしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
 移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。 病院で使う際も、病院の指示に従ってください。
 禁止 プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプター）を外すこと** 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 AC アダプターをご使用の場合には、AC アダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

⚠ 注意（カメラについて）

 発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
 禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
 放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
 禁止	**付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

⚠ 危険（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

 禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 危険 	**付属のバッテリーチャージャーを使用してカメラで充電すること、または別売の専用充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 使用禁止 	**Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 は、ニコンデジタルカメラ専用の充電式電池で、COOLPIX S10 に対応しています。EN-EL5 に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
 危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターまたはリサイクル協力店へご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 注意（専用 Li-ion リチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

警告（バッテリーチャージャーについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグを抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

⚠ 警告（バッテリーチャージャーについて）

プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグを抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグを抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となります。

注意（バッテリーチャージャーについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置禁止	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

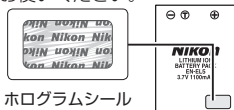
ご確認ください

●本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。

ホログラムシール

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故や故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦ください。

●保証書とカスタマー登録カードについて

この製品には保証書とカスタマー登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入後 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

- カスタマー登録は右記のホームページからも行えます。 https://reg.nikon-image.com

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様および性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターで新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

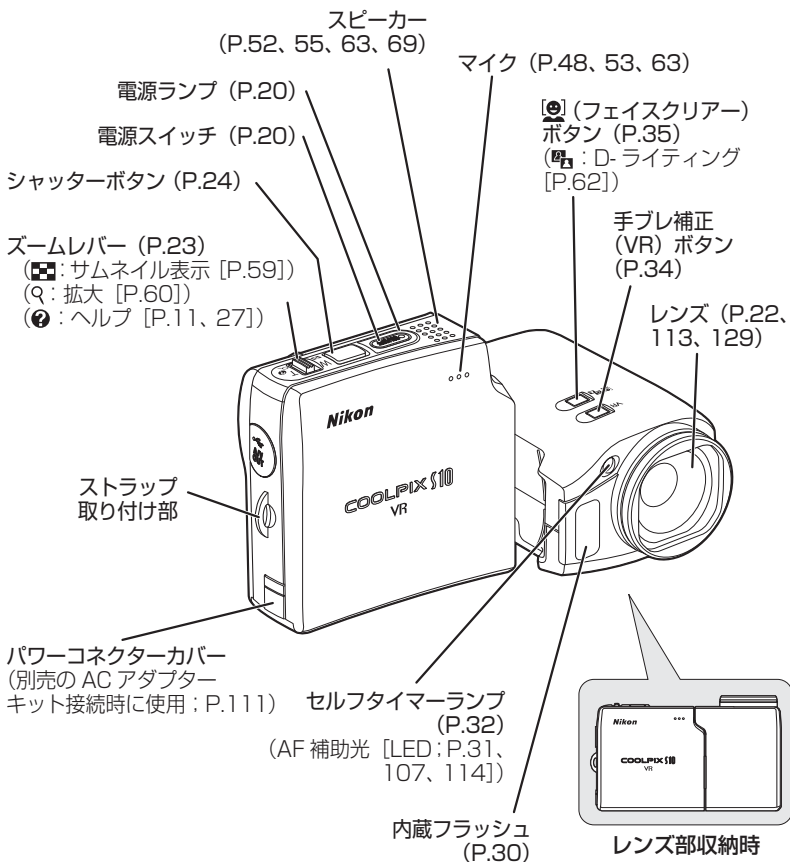
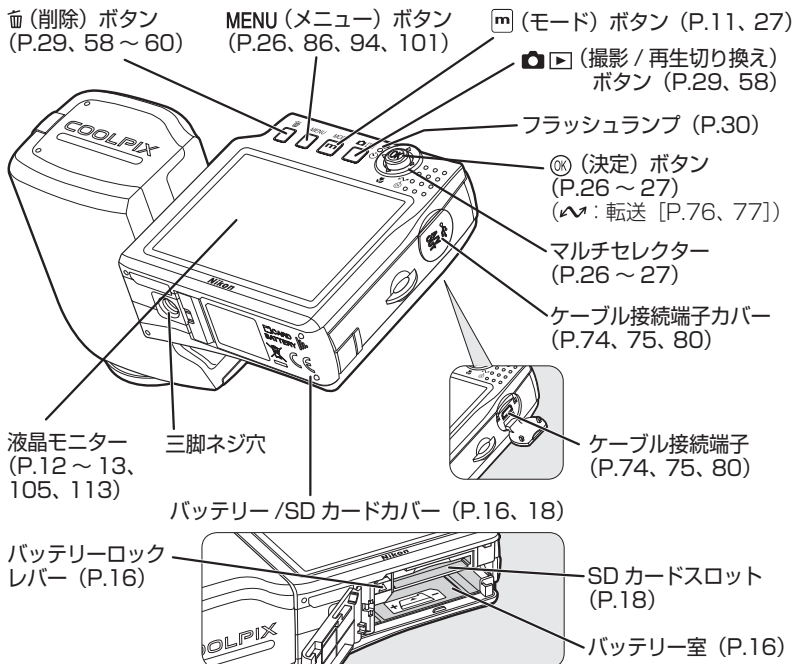
●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

●カメラやメモリーカードを譲渡 / 廃棄するときのご注意

メモリー（メモリーカード / カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には消去されません。譲渡 / 廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。
メモリーを譲渡 / 廃棄する際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、［オープニング画面］の［撮影した画像］（P.102）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡 / 廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

各部の名称

カメラ本体

レンズ部収納時

🗑（削除）ボタン（P.29、58 ～ 60）

MENU（メニュー）ボタン（P.26、86、94、101）

m（モード）ボタン（P.11、27）

📷▶（撮影 / 再生切り換え）ボタン（P.29、58）

フラッシュランプ（P.30）

OK（決定）ボタン（P.26 ～ 27）（〜：転送［P.76、77］）

マルチセレクター（P.26 ～ 27）

ケーブル接続端子カバー（P.74、75、80）

ケーブル接続端子（P.74、75、80）

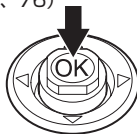
液晶モニター（P.12 ～ 13、105、113）

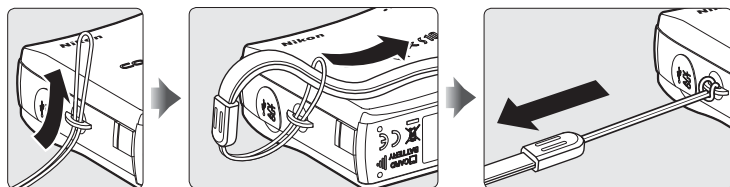
三脚ネジ穴

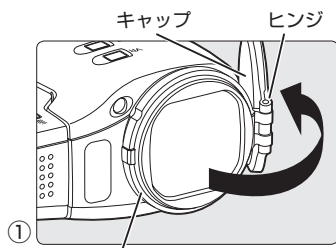
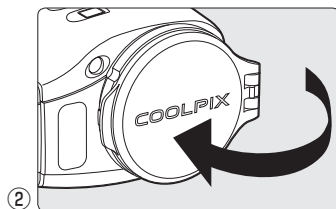
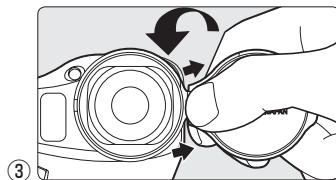
バッテリー /SD カードカバー（P.16、18）

バッテリーロックレバー（P.16）

SD カードスロット（P.18）

バッテリー室（P.16）

ストラップの取り付け方

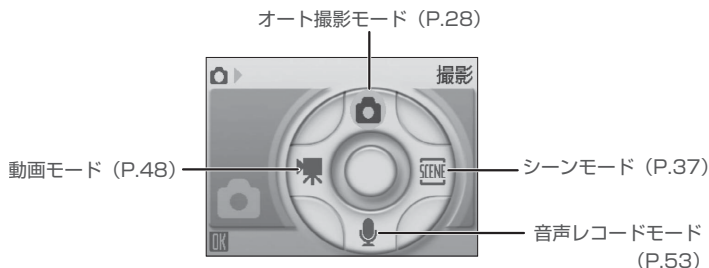
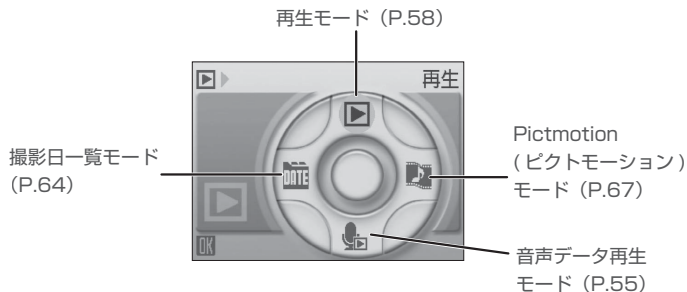
図のように付属のストラップを取り付けます。

レンズキャップの使い方

レンズキャップのカメラ取り付け部をカメラ本体に装着したまま、キャップ部分を開けたり（①)、閉じたり（②）することができます。

レンズキャップ全体をカメラ本体から取り外す場合は、レンズキャップを開いた状態で、ヒンジ部分を引っ張りながらねじるように持ち上げて（③)、カメラから外します。

ヘルプ機能について

メニューが表示されているときにズームレバーを **T**（?）方向に倒すと、そのメニュー項目に関するヘルプ（簡単な説明）が表示されます。操作中のメニューの内容について確認したいときなどに便利な機能です。詳しくは P.27 をご覧ください。

m（モード）ボタンの使い方

撮影時や再生時に m ボタンを押すと、下のようなモードメニューが表示されます。このモードメニューを使って、カメラの様々な機能を切り換えます。モードメニューの操作方法については、P.27 をご覧ください。

撮影時

再生時

液晶モニター

説明のため、すべての表示を点灯させています。

撮影時

1
2 AE-L
3
4 W T
5 AF
6 AUTO
7 IN
8
9 50 100 200 400 800 ISO
10 VR
11 VR
12 10
13
14
15 DATE DATE 123
16 [9999] [0h00m00s]
17
18 6M 6M 3M PC TV
19 +1.0
20 C SE VI BW
21 PRE
22 BSS AE-BSS
23

再生時

1 撮影モード ....11、28、37、48
2 AE-L 表示...46
3 マクロモード...............................33、43
4 ズーム表示 ....23、33
5 AF 表示...24
6 フラッシュモード.................................30
7 内蔵メモリー /SD カード表示 21
8 バッテリーチェック.............................21
9 感度表示 ....31、92
10 手ブレ補正（VR）モード 34
11 電子式手ブレ補正表示........................49
12 セルフタイマー / カウントダウン表示...32
13 時計マーク 116
14 ワールドタイム.................................102
15 デート写し込み / 誕生日カウンター ... 106
16 記録可能コマ数........................21、125
動画連続撮影記録時間 ....48、125
17 AF エリア....................................24、93
18 画像モード 86
19 露出補正マーク /
露出補正値 ....36、47、88
20 ピクチャーカラー................................92
21 ホワイトバランス................................87
22 BSS...91
23 連写モード 89

1 フォルダー名※..................................127
2 ファイル名※......................................127
3 内蔵メモリー /SD カード表示 21
4 バッテリーチェック.............................21
5 音量表示 ....52、56、63
6 音声メモ録音ガイド.............................63
7 音声メモ再生ガイド.............................63
8 表示画像コマ番号 / 総画像コマ数
動画再生時間...52
9 D- ライティング済みマーク 62
10 動画再生表示...52
11 画像モード 86
12 動画モード 52
13 スモールピクチャー表示 99
14 プロテクト表示....................................97
15 プリント表示..83
16 転送マーク ....76、97、110
17 撮影時刻※ 102
18 撮影日付※ 102

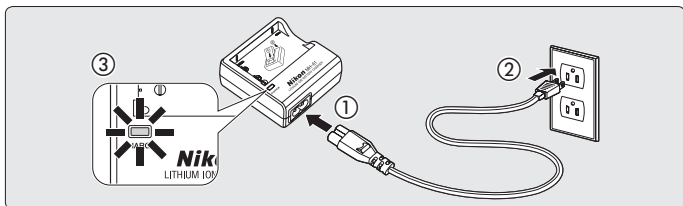
※ 撮影日一覧モードでは、表示内容が異なります（P.64）。

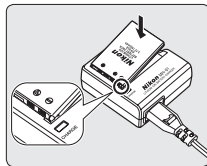
撮影の準備

バッテリーを充電する

ご購入直後や、付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー（リチウムイオン充電池）EN-EL5の残量が少なくなったときは、付属の専用バッテリーチャージャー（充電器）MH-61でバッテリーを充電してください。

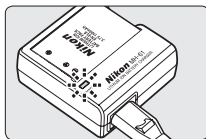
1 バッテリーチャージャーの電源コードを接続する

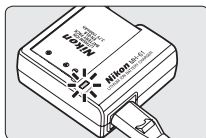
- 電源コードのACプラグをACプラグ差し込み口に（①）、電源プラグをコンセントに差し込みます（②）。CHARGEランプが点灯して、通電中であることをお知らせします（③）。

2 付属のリチャージャブルバッテリーEN-EL5の端子カバーを外して、バッテリーチャージャーにセットする

- バッテリーの突起部をバッテリーチャージャーの凹部に合わせてセットしてください。

バッテリーチャージャーについてのご注意

- バッテリーチャージャーを使用する際には、必ず「安全上のご注意」の「危険」、「警告」（P.6）の注意事項をお守りください。
- MH-61は、Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL5を充電するためのバッテリーチャージャーです。MH-61に対応していないバッテリーは、使用しないでください。
- カメラに付属の電源コードは、MH-61以外の機器に接続しないでください。この電源コードは、日本国内専用（AC100V対応）です。日本国外でお使いになる場合は、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。また、ニコンオンラインショップ http://shop.nikon-image.com でもお求めいただけます。

3 充電が始まる

- 充電中は、CHARGE ランプが点滅します。
- 残量のないバッテリーの場合、充電には約 2 時間かかります。

4 充電が終わる

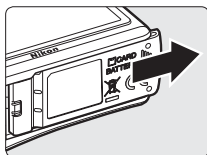
- CHARGE ランプが点滅から点灯に変わったら、充電完了です。
- バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

CHARGE ランプが速く点滅した場合

充電中に CHARGE ランプが速く点滅した場合は、以下のようなエラーが発生している可能性があります。

- 指定温度外で使用しています。室温（5℃～ 35℃）でご使用ください。
- セットしたバッテリーに異常があります。ただちに電源プラグを抜いて充電を中断してください。バッテリーおよびバッテリーチャージャーは、販売店やニコンサービスセンターにお持ちください。

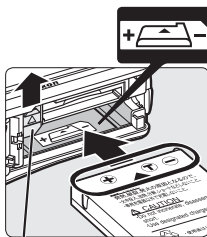
バッテリーを入れる

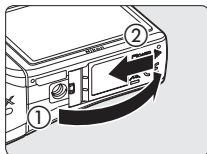
付属の専用バッテリーチャージャー MH-61 で充電した Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 をカメラに入れます。

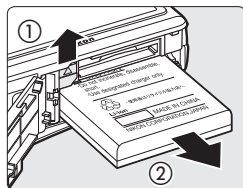
1 バッテリー /SD カードカバーを開ける

2 バッテリーを入れる

- バッテリー室内の表示を見ながら、+と−を正しい向きで入れてください。

逆挿入注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、よくご確認ください。

- バッテリーは、オレンジ色のバッテリーロックレバーを押し上げながら差し込んでください。奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーが下がり、バッテリーが固定されます。

3 バッテリー /SD カードカバーを閉じる

バッテリーを取り出すときは

電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー /SD カードカバーを開けてください。オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと、バッテリーが押し出されるので、そのまままっすぐに引き抜いてください。

- カメラを使った直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

バッテリーについてのご注意

- バッテリーをカメラに入れるときは、必ず「安全上のご注意」の「危険」、「警告」（P.5 ～ 6）の注意事項をお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（P.115）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

使用可能な電源について

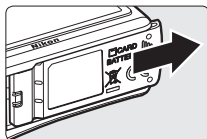
- このカメラで使用できるバッテリーは、Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 だけです。その他のバッテリーは**絶対に使用しないでください**。
- 再生時やパソコンとの接続時など、カメラを長時間ご使用になる場合は、フル充電されたバッテリーまたは別売の AC アダプターキット EH-62A をご使用ください。AC アダプターキットを使用すると、家庭用コンセント（AC100V）からカメラに電源を供給することができます。EH-62A 以外の AC アダプターは**絶対に使用しないでください**。カメラの故障、発熱の原因となります。AC アダプターキット EH-62A の使用方法については、AC アダプターキットの使用説明書および「AC アダプターキット EH-62A の接続について」（P.111）をご覧ください。

SD カードを入れる

撮影した画像は、カメラの内蔵メモリー（約 16MB）、または市販の SD カード（P.112）のどちらかに記録することができます。

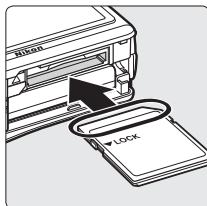
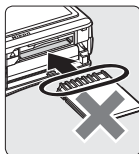
カメラに SD カードを入れると、撮影した画像の記録や再生、削除などの操作は、カード内の画像だけが対象になります。内蔵メモリーを使いたいときは、カードを取り出してください。

1 電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー /SD カードカバーを開ける

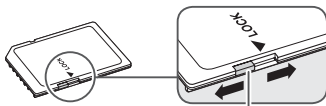
- 点灯している場合は、電源スイッチを押して、電源を OFF にしてください。
- **SD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。**

2 SD カードを入れる

- SD カードのラベルが貼られた面を上にして（液晶モニターの側にして）、カチッと音がするまで差し込んでください。

逆挿入注意

SD カードの向きを間違えると、カメラや SD カードが破損するおそれがあります。
正しい向きになっているか、よくご確認ください。

- 挿入後、バッテリー /SD カードカバーを閉めてください。

SD カードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SD カードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや消去が禁止され、カード内の画像を保護できます。撮影や画像の削除、カードの初期化などを行うときは「Lock」を解除してください。

3 電源スイッチを押して、電源を ON にする

- 液晶モニターに記録可能コマ数などが表示された場合は、そのまま撮影できます。
- 右のように表示されたときは、SD カードを初期化する必要があります。下記ヒントをご覧ください。

SD カードを取り出すときは

電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー /SD カードカバーを開けてください。カードを奥に押し込むと、カードが押し出されるので、そのままままっすぐに引き抜いてください。

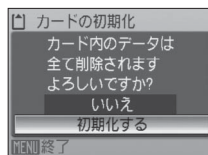
ヒント SD カードを初期化（フォーマット）する

SD カードを入れてカメラの電源を ON にしたときに、下記ステップ 1 の画面が表示された場合は、以下の手順で SD カードの初期化をしてください。

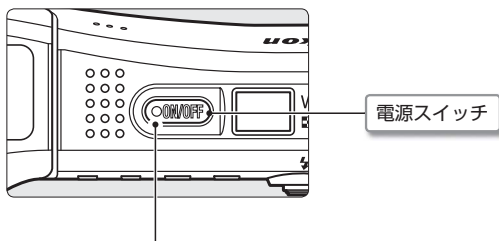
SD カードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。

1 マルチセレクターで［初期化する］を選んで ⓀⓀ ボタンを押す

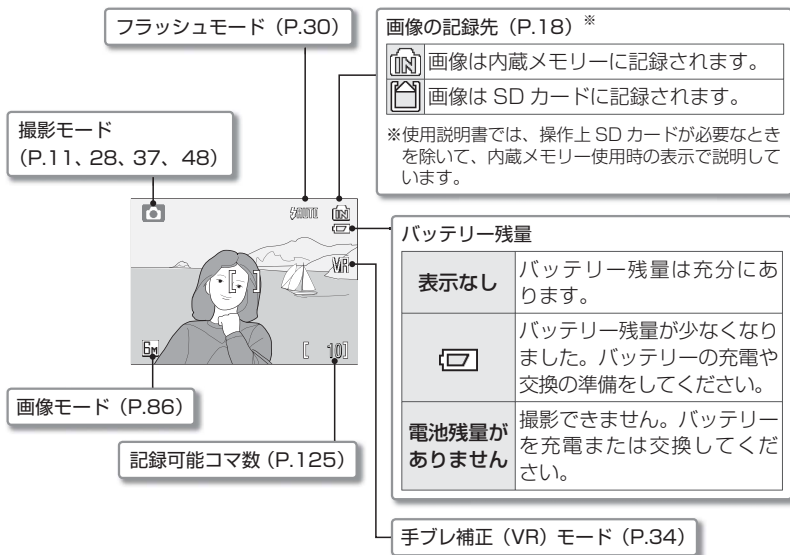
2 右の画面が表示されるので、マルチセレクターで［初期化する］を選んで OK ボタンを押す

- 初期化が始まります。**初期化中は、電源を OFF にしたり、バッテリーや SD カードを取り出したりしないでください。**
- 初期化が完了すると、撮影できます。

カメラの基本操作

電源を ON にする

電源スイッチを押すと、電源が ON になります。電源ランプと液晶モニターが点灯します。

電源ランプ

点灯	電源が ON になっています。
遅い点滅	節電のため、液晶モニターが消灯しています（節電機能；P.21 の「ヒント」参照）。
速い点滅	バッテリー残量がなくなりました。バッテリーを充電または交換してください。
消灯	電源が OFF になっています。

電源を ON にしたときの液晶モニターの表示内容は以下の通りです。

電源を OFF にするには

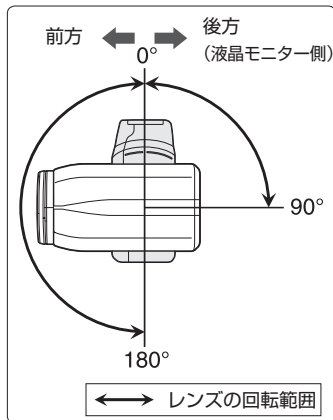
電源を OFF にするときは、電源スイッチを押してください。電源ランプが消灯したことをご確認ください。

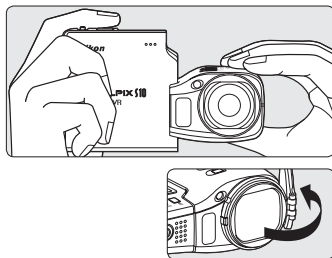
ヒント　撮影時の節電機能について

カメラを操作しない状態が約５秒続くと、バッテリーの消耗を抑えるため、液晶モニターの表示が暗くなります。カメラを操作すると、元の明るさに戻ります。また、カメラを操作しない状態が約 1 分（初期設定）続くと、液晶モニターが自動的に消灯します。そのまま約 3 分経過すると、電源が自動的に OFF になります（オートパワーオフ機能；P.108）。

レンズの向きを決める

カメラのレンズ部を回転させることによって、液晶モニターを見ながら自由にカメラアングルを変えることができます。

- レンズ部は液晶モニターのある面を撮影者側にした場合、前方に最大約 180°まで、後方（撮影者側）に最大約 90°まで回転します。
- レンズを撮影者側に向けると、セルフポートレート撮影も可能です。
- レンズ部は回転範囲内でゆっくり回してください。

カメラの構え方

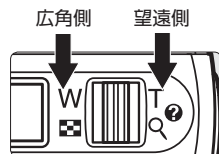
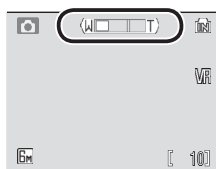
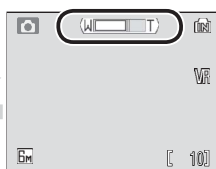
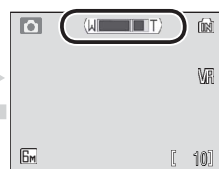
カメラを構えるときは、両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ、AF 補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。レンズキャップを装着している場合は、キャップ部分がレンズにかかっていないことを確認してください。

ヒント　セルフポートレート撮影について

レンズを液晶モニター側に向けてセルフポートレート撮影を行う場合は、液晶モニターには鏡に映ったような状態（鏡像）で被写体が表示されますが、撮影画像はレンズの向こう側から見た状態（正像）で記録されます。

三脚使用時のご注意

カメラに三脚を取り付けた状態でレンズ部を回転させると、角度によっては三脚に当たってレンズを傷つける可能性があります。レンズ部の回転を行ってから、カメラに三脚を取り付けてください。

ズームを使う

ズームレバーを操作すると、ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。

- 写したいもの（被写体）を画面の中央に合わせ、ズームレバーを操作して構図を決めます。
- 広い範囲を写したいときは **W** 方向、被写体を大きく写したいときは **T** 方向にズームレバーを倒してください。
- 光学ズームの最大倍率は約 10 倍です。光学ズームを最も望遠側にして、さらに **T** 方向に倒し続けると、電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率の約 4 倍（合計約 40 倍）まで拡大することができます。
- ズームの量は、画面上部で確認できます。

ズームレバーを倒すと、画面上部にズームの量が表示されます

光学ズームの最大倍率（約 10 倍）

電子ズームが作動すると、表示が黄色に変わります

カメラの基本操作

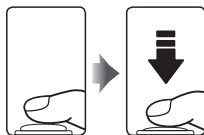
電子ズームについてのご注意

電子ズームは光学ズームとは違い、デジタル処理によって画像を拡大するため、粒子の粗い画像になります。

シャッターをきる

シャッターボタンは、2 段階に押し込むようになっています。まず、シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めます（これを「**半押し**」といいます）。これで被写体にピントが合います。次に、そのまま指を深く押し込む（これを「**全押し**」といいます）とシャッターがきれます。

1 シャッターボタンを半押しする

- 画面中央の AF エリアに重なっている被写体にピントが合います。
- ピントが合うと、AF エリア表示が緑色に変わり、緑色の AF 表示（AF ●）が点灯します。
- AF 表示と AF エリアが赤色点滅した場合は、ピントが合っていません。構図を変えてもう一度ピントを合わせてください。

2 シャッターボタンを全押しする

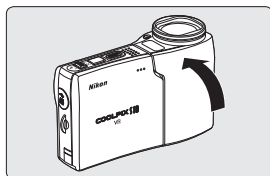
- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- 暗い場所などではフラッシュが発光する場合があります。
- シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

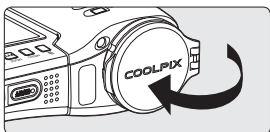
撮影を終了するときは

撮影を終了するときは、次の操作を行ってください。

1 カメラの電源を OFF にする（P.21）

2 レンズ部を収納する

レンズ部を回転させて、図のように収納します。

3 レンズキャップのキャップ部分を閉じる

レンズキャップを取り付けている場合は、図のようにキャップ部分を閉じます。

カメラの基本操作

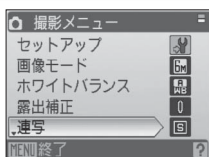
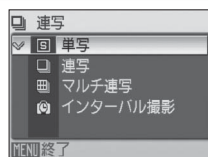
画像の記録についてのご注意

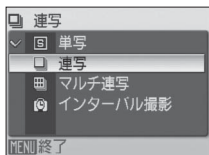
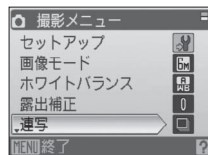
画面に ⌛ が表示されているときや、IN または □ が点滅しているときは、画像の記録中です。SD カードやバッテリーなどを取り外さないでください。画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SD カードが壊れる場合があります。

メニューを操作する

メニューには様々な種類があります。代表的なメニューの操作例は以下の通りです。

通常のメニュー操作

撮影時や再生時に MENU ボタンを押すと、下のようなメニュー画面が表示されます。マルチセレクターを**上**または**下**に倒して項目を選び、中央の ⓚ ボタンを押して次の画面に進みます。

項目を選ぶ

次画面に進む

項目を選ぶ

設定が切り替わり、元の画面に戻る

ヒント ⓚ ボタンの代わりに、マルチセレクターを右に倒して決定できる場合もあります

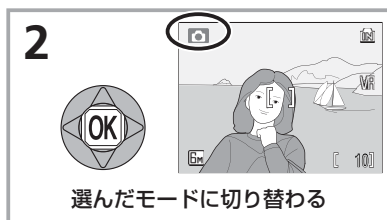
モード選択画面の操作

撮影時や再生時に m ボタンを押すと、モード選択画面が表示されます。マルチセレクターを**上下左右**に倒して項目を選び、中央の ㊇ ボタンを押して次の画面に進みます。

1

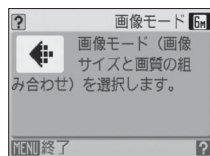
モードを選ぶ

2

選んだモードに切り替わる

メニュー操作に迷ったときは

メニューの操作途中でわからないことがあった場合は、ヘルプ機能をご利用ください。

ズームレバーを **T**（❓）方向に倒すと、そのメニュー項目に関するヘルプ（簡単な説明）が表示されます。

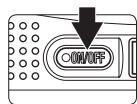
- ㊇ ボタンを押すと、そのメニュー項目に対応した撮影モード、または設定画面に移ります。
- 元の画面に戻るには、もう一度ズームレバーを **T**（❓）方向に倒してください。
- **MENU** ボタンを押すと、撮影または再生に戻ります。

ヒント **撮影 / 再生を切り換えたときのモードの状態について**

- 撮影時に選んだモードは、電源を OFF にしたり、📷 ▶ ボタンで再生に切り換えても、保持されます。
- 再生時に選んだモードは、📷 ▶ ボタンで撮影に切り換えると、1 コマ再生モード（P.58）にリセットされます。
- 撮影時に 🎤（音声レコード）モードを選んでから 📷 ▶ ボタンを押すと、音声データ再生モード（P.55）になります。
- 再生時に 🎤（音声データ再生）モードを選んでから、電源を OFF にしたり、📷 ▶ ボタンを押すと、前回撮影時に選択したモードにかかわらず、音声レコードモード（P.53）になります。

簡単な撮影と再生

📷（オート撮影）モードで撮影する—カメラまかせの簡単撮影

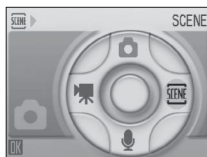
📷（オート撮影）モードでは、シャッターボタンを押すだけの簡単な操作で、さまざまな状況での撮影を楽しむことができます。以下の手順で撮影してください。

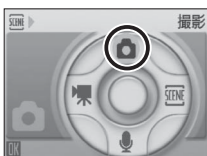
1

電源を ON にする

液晶モニターの左上に 📷 が表示されている場合は、すでに 📷（オート撮影）モードになっています。ステップ 5 にお進みください。

2

Ⓜ ボタンを押す

撮影モード選択画面が表示されます。

3

📷 を選ぶ

4

📷（オート撮影）モードになる

5

構図を決めて、シャッターボタンを半押しする

写したいもの（被写体）を、画面中央の AF エリアに重なるようにとらえてください。

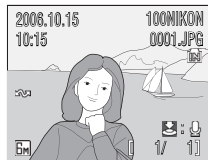
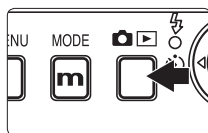
6

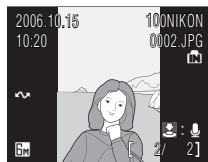
シャッターボタンを全押しして、撮影する

- 暗い場所で撮影するときは、AF 補助光が点灯したり、フラッシュが発光したりする場合があります。詳しくは P.30 をご覧ください。

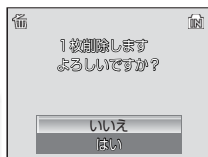
撮影した画像を確認する

📷▶ ボタンを押す

- 撮影した画像が表示されます。
- マルチセレクターを**左**か**上**に倒すと前の画像を、**右**か**下**に倒すと次の画像を見ることができます。マルチセレクターを1方向に倒し続けると、画像を早送りできます。

- カメラを縦に構えて撮影した画像（縦位置の画像）は、自動的に回転して表示されます。

- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗くなる場合があります。
- 撮影に戻るには、もう一度 📷▶ ボタンを押してください。

画像を削除する

画像が表示されているときに 🗑 ボタンを押す

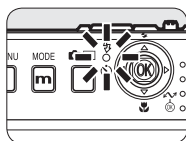
- 削除確認画面が表示されます。マルチセレクターで［はい］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、その画像が削除されます。
- 削除するのをやめたいときは、［いいえ］を選んで Ⓚ ボタンを押してください。

ヒント 撮影時に画像を削除する

撮影時に 🗑 ボタンを押したときは、直前に撮影した画像の削除確認画面が表示されます。［はい］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、その画像が削除されます。

フラッシュの使い方

撮影状況に合わせて、フラッシュモードを、以下の 5 種類から選ぶことができます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約 0.3 ～ 5.4m、望遠側で約 1.0 ～ 5.4m です。

⚡AUTO	**自動発光**	暗い場所などで、自動的にフラッシュが発光します。
⚡◎	**赤目軽減自動発光**	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます。詳しくは下記「ヒント」をご参照ください。
⊛	**発光禁止**	フラッシュは発光しません。
⚡	**強制発光**	被写体の明るさに関係なく、必ずフラッシュが発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
⚡☆	**スローシンクロ**	夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写します。

- シャッターボタンを半押ししたときに、フラッシュランプでフラッシュの状態を確認できます。

赤色点灯	撮影時にフラッシュが発光します。
赤色点滅	フラッシュの充電中です。
消灯	フラッシュは発光しません。

- 📷（オート撮影）モードで設定したフラッシュモードは、電源を OFF にしても記憶されます。

ヒント **赤目軽減自動発光について**

このカメラは「**アドバンスト赤目軽減方式**」を採用しています。フラッシュが本発光の前に数回小量発光して赤目現象を軽減すると同時に、撮影した画像に赤目の部分がある場合は、カメラが自動的に補正します（この場合、画像の記録時間がやや長くなります）。ただし、

- シャッターチャンスを優先する撮影にはおすすめできません
- 撮影状況によっては、望ましい結果が得られない場合があります
- ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合があります

以上のような場合は、他のフラッシュモードで撮影してください。

フラッシュモードの設定方法

1

フラッシュモードのリストを表示する

2

フラッシュモードを選ぶ

3

フラッシュモードが切り替わる

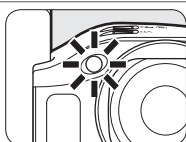
- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- Ⓞ ボタンを押さないまま 5 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

簡単な撮影と再生

ヒント 暗い場所で撮影するときは

暗い場所で撮影するときは、以下の点にご注意ください。

①シャッターボタンを半押しすると、自動的に AF 補助光が点灯する場合があります。AF 補助光が届く距離は、カメラから約 2.0m です。

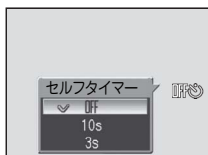
AF 補助光が点灯しないように設定を変更することもできます（P.107）。ただし、ピントが合いにくくなる場合があります。

②フラッシュを発光禁止にすると、シャッタースピードが遅くなるため、手ブレしやすくなります。このような状況では、

- 「ISO」と表示されたときは、ISO 感度が上がっているため、通常よりもざらついた画像になることがあります。ISO 感度を固定して撮影することもできます（P.92）。

- 手ブレ補正（VR）機能（P.34）を使用すると、手ブレの影響を軽減できます。

セルフタイマーの使い方

記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、撮影時の手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。タイマー時間は 10 秒と 3 秒の 2 種類から選ぶことができます。セルフタイマー撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。

1

セルフタイマーモードのリストを表示する

2

タイマー時間を選ぶ

10s（10 秒）: 記念撮影などに適しています。
3s（3 秒）: 手ブレの軽減に適しています。

3

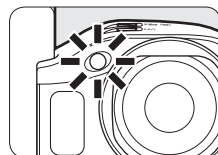
セルフタイマー撮影に入る

- セルフタイマー マークが表示されます。
- OK ボタンを押さないまま 5 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

4

構図を決めて撮影する

- セルフタイマーが作動し、ステップ 2 で設定した時間が経過すると、自動的にシャッターがきれます。
- セルフタイマーを途中で止めるには、もう一度シャッターボタンを押してください。

セルフタイマーが作動すると、セルフタイマーランプが点滅します。シャッターがきれる約 1 秒前になると、点灯に変わります。

マクロ（接写）モードの使い方

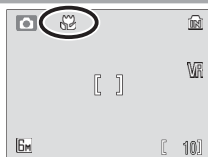
最短約 4cm まで被写体に近づいて撮影することができます。ただし、フラッシュ撮影時は、被写体から 30cm 以上離れなければ、フラッシュの光が充分に行き渡らない場合がありますのでご注意ください。

1

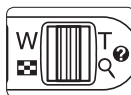
マクロモードのリストを表示する

2

［ON］を選ぶ

3

マクロモードが ON になる

- マークが表示されます。
- ボタンを押さないまま 5 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

4

構図を決める

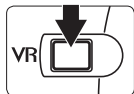
- マークとズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約 4cm の被写体にピントを合わせることができます。
- シャッターボタンを半押ししてピントが固定されるまで、カメラは常にピント合わせを繰り返します。

5　**ピントを合わせて撮影する**

- （オート撮影）モードで設定したマクロモードは、電源を OFF にしても記憶されます。

手ブレ補正（VR）モードの使い方

カメラを手持ちで撮影を行うときは、手ブレ補正（VR）モードが便利です。手ブレ補正（VR）機能を使用すると、カメラの揺れを自動的に検出して、撮影時の手ブレの影響を軽減します。望遠側で撮影する場合や、室内などでフラッシュを使わずに撮影する場合には、特に効果的です。

1

手ブレ補正（VR）モードを ON にする

手ブレ補正（VR）ボタンを押すたびに、手ブレ補正（VR）モードの ON/OFF が切り替わります。

2

ピントを合わせて撮影する

シャッターボタンの半押し中と撮影時に、手ブレ補正を行います。また、シャッターボタンを半押ししている間、手ブレ補正の効果を液晶モニターで確認できます。

簡単な撮影と再生

手ブレ補正（VR）モード使用時のご注意

- 三脚使用時には、手ブレ補正（VR）モードを OFF にしてください。
- カメラの電源を ON にした直後やオートパワーオフ（P.108）解除直後は、液晶モニターの表示が安定してから撮影してください。
- 夜景撮影など、シャッター速度が遅いときには、手ブレ補正の効果が現れにくいことがあります。

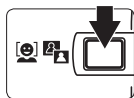
人物をきれいに撮る—フェイスクリアーモード

撮影時（音声レコードモードを除く）に ボタンを押すと、人物撮影に最適な「フェイスクリアーモード」になります。フェイスクリアーモードでは、

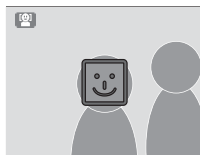
- 人物を浮き立たせて立体感のある画像になります。
- 人物の顔に自動的にピントを合わせる「顔認識 AF」と、フラッシュによる赤目現象を軽減する「アドバンスト赤目軽減」（P.30）が自動的に ON になります。マクロモードは OFF に固定されます。

もう一度 ボタンを押すと、フェイスクリアーモードを終了し、直前の撮影時のモードに戻ります。

フェイスクリアーモードで撮影するには

1

ボタンを押す

黄色の マークが表示されます。

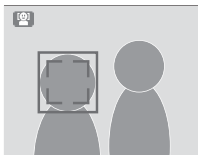
2

マークの大きさを目安に、人物の顔をとらえる

カメラが顔を認識すると、 マークが黄色の二重枠に変わります。※

※ 複数の顔を認識した場合は、最も近くにいる人の顔が二重枠で、他の顔が一重枠で示されます。この場合、二重枠で囲まれた人の顔にピントと露出が合います。途中で被写体が横を向くなどしてカメラが被写体を見失った場合は、枠が消えてステップ 2 の状態に戻ります。

3

シャッターボタンを半押しする

ピントと露出が固定され、二重枠が緑色に変わります。

4

そのまま全押しして撮影する

ヒント フラッシュモードは変更することもできます

フェイスクリアーメニュー

フェイスクリアーモードで MENU ボタンを押すと、フェイスクリアーメニューが表示されます。画像モードや露出補正に加え、肌の色合いや質感の表現をお好みに合わせて設定できます。

セットアップ	セットアップメニュー（P.101）に移ります。
画像モード※1	画像モードを変更できます。詳しくは P.86 をご覧ください。
露出補正※2	画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに、露出を補正できます。露出補正値は－2.0EV～＋2.0EV の範囲で、1/3 段ごとに設定できます（＋にすると明るく、－にすると暗くなります）。
ポートレート効果※1	人物の肌の質感や画像全体の雰囲気をどのように表現するかを、[標準]、[明るめ]、[ソフト] の 3 種類から選べます。[明るめ] にすると人物の肌の透明感を強調した画像になり、[ソフト] にすると全体の雰囲気がソフトな画像になります。

※1 設定内容は、セットアップメニューの［設定クリアー］（P.110）を行うまで、記憶されます。

※2 設定した露出補正値は、他の撮影モードに切り換えると、リセットされます。

顔認識 AF についてのご注意

- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。
- カメラは人物の顔を認識するまでピント合わせを繰り返します。
- 二重枠が黄色点滅している場合は、顔にピントが合っていません。もう一度ピントを合わせてください。
- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 次のような場合、カメラは人物の顔を認識できません。
  - ・顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。
  - ・構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。

シーンに合わせて撮影する

シーンモードについて

撮影シーンが決まっているときは、シーンに合わせて 15 種類のモードから選ぶだけの簡単な操作で、より美しく撮影できます。

シーンモードを使うには

1

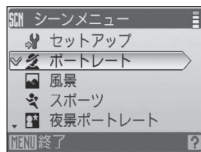
撮影時に m ボタンを押す

2

SCENE を選ぶ

3

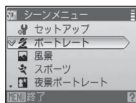
前回設定したシーンモードになる

シーンモードで MENU ボタンを押すと、右のようなシーンモードのメニューが表示され、アシスト機能付きシーンモードとシーンモードを選ぶことができます。

ヒント　メニュー切り換え

セットアップメニューの［メニュー切り換え］（P.102）では、シーンモードの表示スタイルを以下の２種類から選べます。

文字タイプ

アイコンタイプ

シーンに合わせて撮影する

アシスト機能付きシーンモード（4 種類）：画面に構図を決めるためのガイド線が表示されるなど、撮影をお手伝いする「アシスト機能」が充実したモードです。

ポートレート	人物の撮影に
風景	風景の撮影に
スポーツ	運動会などのスポーツ写真に
夜景ポートレート	夜景を背景にした人物撮影に

シーンモード（11 種類）：撮影シーンを選び、シャッターボタンを押すだけで簡単に美しい画像が撮影できるモードです。

パーティー	海・雪	夕焼け	トワイライト	夜景
クローズアップ	ミュージアム	打ち上げ花火	モノクロコピー	逆光
パノラマアシスト				

ヒント ［セットアップ］、［画像モード］、［露出補正］について

シーンモードのメニュー画面では、各シーンモードに加えて、以下の項目も選択できます。

（セットアップ）：セットアップメニュー（P.101）が表示されます。

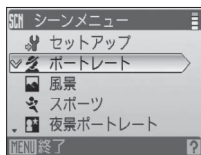
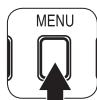
（画像モード）：画像モード（P.86）の変更画面が表示されます。

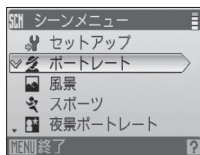
（露出補正）：シーンモードの露出補正画面が表示されます（P.47）。

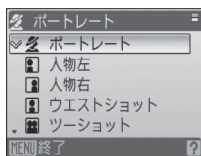
アシスト機能付きシーンモード

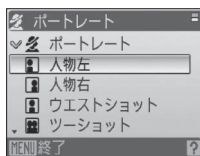
アシスト機能付きシーンモードでは、構図を決めるためのガイド線が表示されるなど、さまざまなアシスト機能が撮影のお手伝いをします。

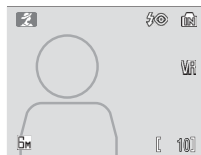
アシスト機能付きシーンモードで撮影するには

1

シーンモードのメニューが表示される

2

アシスト機能付きシーンモードを選ぶ

3

アシスト機能のメニューを表示する

4

アシスト機能を選ぶ

5

アシスト機能が切り替わる

6

被写体をガイドに合わせて、撮影する

ヒント [画像モード] について

アシスト機能のメニューで （画像モード）を選ぶと、画像モードを設定できます（P.86）。

ポートレート

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

※1

ポートレート	ガイドは表示されず、画面中央の AF エリアにピントと露出が合います。
人物左	人物の上半身をやや左右に寄せて撮影するときに使います。ガイド内にピントと露出が合います。
人物右	
ウエストショット	人物の上半身を撮影するときに使います。ガイド内にピントと露出が合います。
ツーショット	2 人並んだ人物の上半身を撮影するときに使います。ガイド内にピントと露出が合います。
縦位置	人物を縦位置で撮影するときに使います。ガイド内にピントと露出が合います。

※1 ［ポートレート］では、暗い場所で AF 補助光（P.31）が自動的に点灯します。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときや、風景を背景にした人物撮影に使います。

※2

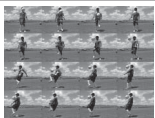
風景	ガイドは表示されず、遠景にピントが合います。※3
山	遠くの山並みを撮影するときに使います。遠景にピントが合います。※3
建物	建物を撮影するときに使います。遠景にピントが合います。※3
左背景	背景と人物を左右に配置した構図で撮影するときに使います。ガイド内の人物にピントと露出が合います。
右背景	

※2 ［左背景］［右背景］では、フラッシュモードは AUTO（自動発光）に設定されます（変更も可能です）。

※3 シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（P.24）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。このモードでは、ガイドは表示されません。

スポーツ	シャッターボタンを深く押し込んでいる間、約 1.6 コマ / 秒で連写できます。※1　画像モードが 6M 標準（2816）の場合、連続約 5 コマ撮影できます。連写中のピントと露出、ホワイトバランスは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
スポーツマルチ連写	シャッターボタンを 1 回深く押し込むと、約 2 秒間で 16 コマ撮影し、右のような 1 コマの画像（2M 1600 × 1200）として記録します。※1

※1 シャッターボタンを押していなくても、カメラは常に画面中央にピントを合わせ続けます。

夜景ポートレート

夕景や夜景を背景に人物を撮影するときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。アシスト機能は、「ポートレート」（P.40）と同じです。このモードで撮影するときは、手ブレを防ぐため、三脚や安定した台などでカメラを固定してください。

 ※2   ※3

※2 赤目スローシンクロ強制発光。

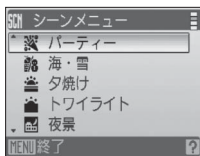
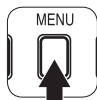
※3 ［夜景ポートレート］では、暗い場所で AF 補助光（P.31）が自動的に点灯します。

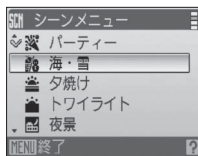
ヒント　アイコンについて

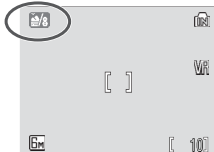
各アシスト機能付きシーンモードの説明内のアイコン（■、□、□）については、「表中のアイコンについて」（P.43）をご覧ください。

シーンモード

シーンモードで撮影するには

1

シーンモードのメニューが表示される

2

シーンモードを選ぶ

3

設定したシーンモードに切り替わる

4

構図を決めて撮影する

シーンモードの種類と特長

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景をいかして、雰囲気のある画像に仕上げます。

海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

夜景 夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。	
クローズアップ 草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。 • マークとズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約 4cm の被写体にピントを合わせることができます。 • シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常にピントを合わせ続けます。	

<表中のアイコンについて>

各モード名の右にあるアイコンの意味は、以下の通りです。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

【①〜⑤：■**は設定を変更できないこと**、□**は設定を変更できること**を示しています】

① フラッシュモード（アイコンの意味は P.30 をご覧ください）

② セルフタイマー（P.32）

③ マクロモード（P.33）

④ ピントの合う位置

　：画面の中央にピントが合います。

　：遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（P.24）が点灯しますが、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

⑤ AF 補助光（P.31）の有無

【⑥、⑦：□**は注意事項があること**を示しています】

⑥ 下記のアイコンがあるモードでは、手ぶれしやすいため、ご注意ください。

　：手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

　；手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定することをおすすめします。

⑦ ノイズ低減；このアイコンがあるモードでは、画像の記録時に、自動的にノイズ低減が行われる場合があります。この場合、画像の記録に時間がかかります。

ヒント 手ブレ補正（VR）モードについて

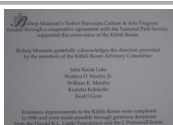
手ブレ補正（VR）機能（P.34）を使用すると、手ブレの影響を軽減します。なお、三脚使用時には手ブレ補正（VR）モードを OFF にしてください。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。
- [BSS]（P.91）が自動的に [ON] になります。

打ち上げ花火

スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。
- 露出補正（P.47）はできません。

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（P.33）を併用してください。

- 赤色、青色などの文字は、薄く写ることがあります。

逆光

逆光状態での撮影に使います。フラッシュが常に発光し、人物が影にならず美しく撮影できます。

パノラマアシスト（P.45）

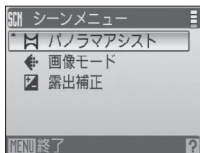
複数の画像をつなげて、パノラマ写真を合成したいときに使います。このモードで撮影した画像をパソコンに転送すると、PictureProject を使ってパノラマ写真を合成することができます。

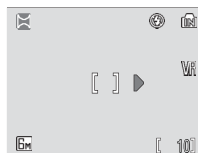
フラッシュモードとマクロモードについてのご注意

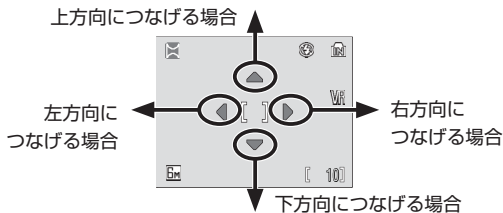
アシスト機能付きシーンモード / シーンモードで変更したフラッシュモード（P.30）とセルフタイマー（P.32）、マクロモード（P.33）は、電源を OFF にするか、別のシーンモードに移るか、ボタンや m ボタンでアシスト機能付きシーンモード / シーンモード以外のモードに移ると、初期設定に戻ります。

[パノラマアシスト] モード (P.44) での撮影方法

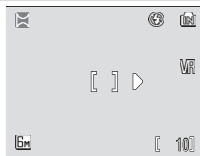
画面中央にピントが合います。三脚をお使いいただくと、構図を合わせやすくなります。

1

シーンモードのメニュー(P.37)で ⌘(パノラマアシスト)を選ぶ

2

パノラマアシスト撮影画面が表示される

3

画像をつなげる方向を選ぶ

画像をつなげる方向(黄色の三角印)を選んでください。

4

方向が決定する

- 三角印が白色に変わります。
- フラッシュモード(P.30)、セルフタイマー(P.32)、マクロモード(P.33)を設定したい場合は、ここで設定してください。
- もう一度 Ⓞ ボタンを押すと、ステップ3に戻ります。

パノラマアシストモードについてのご注意

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロモードは、撮影開始前に設定してください。撮影開始後に設定を変えることはできません。撮影開始後は、画像モード(P.86)の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ機能(P.108)が作動した場合、撮影は終了します。

5

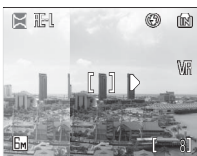
1 コマ目を撮影する

撮影した画像が、画面の約 1/3 の領域に、半透明で表示されます。

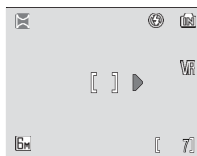
6

構図を合わせる

1 コマ目の絵柄に合うように、構図を合わせてください。

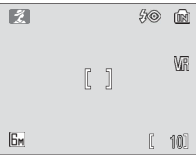
7

2 コマ目以降を撮影する

ステップ 6、7 の手順を繰り返し、必要な画像を撮影してください。

8

撮影を終える

ステップ 3 の画面に戻ります。

ヒント「AE-L 表示」について

パノラマアシストモードでは、1 コマ目を撮影すると、画面に「AE-L」と表示されます。これは、露出とホワイトバランスが固定されたことを示しています。これによってパノラマ写真を構成するすべての画像が、同じ露出とホワイトバランスにそろいます。

パノラマアシストで撮影した画像のファイル名とフォルダ名：P.127

シーンモードの露出補正

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに、露出を補正できます。露出補正値は－ 2.0EV ～＋ 2.0EV の範囲で、1/3 段ごとに設定できます（＋にすると明るく、－にすると暗くなります）。

シーンモードで露出補正を行うには

1

撮影したいシーンモードに合わせる

2

シーンモードのメニューが表示される

3

［露出補正］を選ぶ

4

露出補正画面が表示される

5

露出補正値を選ぶ

6

設定した露出補正値に切り替わる

7

露出補正値を設定したシーンモードに戻る

- アシスト機能付きシーンモード / シーンモードで設定した露出補正値は、電源を OFF にするか、別のシーンモードに移るか、ボタンや ボタンでアシスト機能付きシーンモード / シーンモード以外のモードに移ると、初期設定に戻ります。

シーンに合わせて撮影する

動画を撮影 / 再生する

動画を撮影する

音声付きの動画（[微速度撮影 640 ★] を除く）を撮影する方法は以下の通りです。動画を記録できる時間は、初期設定の [カメラ再生 320] の場合、内蔵メモリーなら約 56 秒、256MB の SD カードなら約 14 分 15 秒です。

1

撮影時に ⓜ ボタンを押す

2

🎥（動画）を選ぶ

3

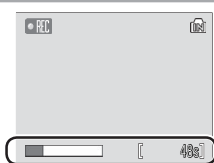
動画モードになる

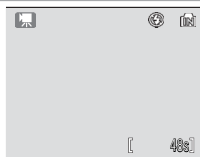
画面下部に、記録できる時間が表示されます。

4

シャッターボタンを全押しして、撮影を始める

画面下部で、記録できる残り時間の目安を確認できます。

5

もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終える

ステップ 3 の画面に戻ります。

✔ 動画撮影についてのご注意

- フラッシュモード（P.30）は [微速度撮影 640 ★] 以外では ⊛（発光禁止）に固定されます。セルフタイマー（P.32）は OFF に固定されます。
- 光学ズーム（P.23）は、撮影前に操作してください。撮影中は電子ズーム（2 倍まで）しか操作できません。
- カメラを太陽などの高輝度被写体に向けて撮影した動画には、縦に尾を引いたような現象（スミアー）が発生することがあります。このような被写体を避けて撮影してください。

電子式手ブレ補正について

動画モードのときに手ブレ補正 (VR) ボタンを押すと、電子式手ブレ補正の ON/OFF が切り替わります。電子式手ブレ補正を使うと、動画撮影時 ([微速度撮影 640 ★] を除く) に、手ブレの影響を軽減できます。

- 電子式手ブレ補正の設定状況は、液晶モニターで確認できます (P.12 ～ 13)。OFF のときは、何も表示されません。

動画メニュー

動画モードで MENU ボタンを押すと、動画メニューが表示されます。

セットアップ	セットアップメニューに移ります。	P.101
動画設定	撮影する動画の種類を設定します。	下記
AF-MODE	動画撮影時のピント合わせについて設定します。	P.51

- すべての設定内容は、セットアップメニューの [設定クリアー] (P.110) を行うまで、記憶されます。

動画設定

撮影する動画の種類を以下の 6 種類から選べます。

	サイズ (ピクセル)	フレーム数 / 秒
TV 再生 640 ★	640 × 480	30
カメラ再生 320 ★	320 × 240	30
カメラ再生 320	320 × 240	15
Pictmotion 320 ※	320 × 240	15
長時間再生 160	160 × 120	15
微速度撮影 640 ★ (P.50)	640 × 480	30

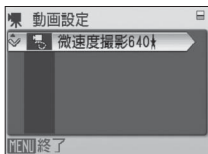
※ 60 秒で自動的に撮影が終わるため、Pictmotion (P.67) での利用に適しています。

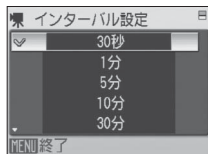
動画メニューの初期設定：P.124
1 枚の SD カードで動画を記録できる時間：P.125
動画のファイル名とフォルダ名：P.127

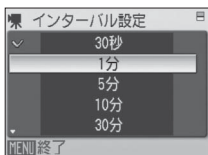
微速度撮影について

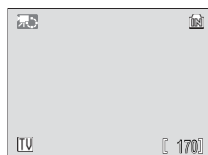
あらかじめ設定した撮影間隔で静止画を自動的に連続撮影（最大 1800 フレーム＝ 60 秒）してから、その静止画をつなげ、動画として記録します（音声は録音されません）。花のつぼみが開く様子を早送りで観察したいときなどに便利です。

撮影の手順は以下の通りです。途中でバッテリーが切れることがないように、充分に充電したバッテリーをお使いいただくことをおすすめします。

1

［動画設定］→［微速度撮影 640 ★］を選ぶ

2

［インターバル設定］画面が表示される

3

撮影間隔を選んで ㊋ ボタンを押す

4

撮影画面に戻る

5

シャッターボタンを全押しして、撮影を始める

撮影の合間は、液晶モニターが消灯してフラッシュランプが点滅します。次のコマの撮影直前になると、自動的に再点灯します。

6

もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終える

内蔵メモリー /SD カードの残量が無くなったときや、記録コマ数が 1800 コマ（60 秒）に達したときは、撮影が自動的に終了します。

AF-MODE

動画撮影時のピント合わせについて設定します。

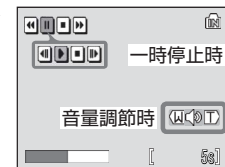
シングル AF	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、撮影中はそのピントで固定されます。
常時 AF	撮影中も常にカメラがピントを合わせ続けます。

［常時 AF］にすると、カメラの動作音が録音される場合があります。動作音が気になるときは［シングル AF］で撮影してください。

動画を再生する

1コマ再生モード（P.58）で 🎥 マークが表示されている画像は、動画です。Ⓚ ボタンを押すと、動画が再生されます。

動画再生中

動画の再生中は、ズームレバーで音量（4段階）を調節できます。
また、画面上部に表示される操作ボタンによって、以下の操作が行えます。マルチセレクターを**左右**に倒して、ボタンを切り換えてください。

巻き戻し	◀◀	Ⓚ ボタンを押している間、巻き戻されます。
早送り	▶▶	Ⓚ ボタンを押している間、早送りされます。
一時停止	❚❚	Ⓚ ボタンを押すと、一時停止します。一時停止中には、画面上部の操作ボタンによって、以下の操作ができます。
	◀❚❚	Ⓚ ボタンを押すと、1コマ戻ります。押し続けると、連続してコマ戻しされます。
	❚❚▶	Ⓚ ボタンを押すと、1コマ進みます。押し続けると、連続してコマ送りされます。
	▶	Ⓚ ボタンを押すと、再生を再開します。
	■	Ⓚ ボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。
再生終了	■	Ⓚ ボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。

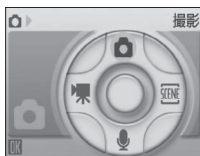
ヒント 動画を削除するには

動画を削除したいときは、1コマ再生モードやサムネイル表示モードで動画を表示しているとき、または動画の再生中に、🗑 ボタンを押してください。

音声レコード機能を使う

ボイスレコーダーのように、内蔵メモリーやSDカードに音声を記録することができます。

音声を録音する

1

撮影時に m ボタンを押す

2

（音声レコード）を選ぶ

3

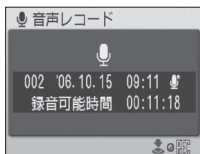
音声レコード録音モードに切り替わる

- 録音可能時間が表示されます。

4

シャッターボタンを全押しして、録音を始める

- 録音中は液晶モニターの節電機能（P.21）が働き、フラッシュランプが点灯します。
- 録音中の操作方法については、次ページをご覧ください。

5

シャッターボタンを全押しして、録音を終える

内蔵メモリー/SDカードの残量が無くなったときや、録音開始から5時間経過したときは、録音が自動的に終了します。

1枚のSDカードで音声を記録できる時間：P.125
録音した音声データのファイル名とフォルダ名：P.127

音声録音中の操作

録音中は、下のような画面が表示されます。液晶モニターが節電機能（P.21）によって消灯している場合は 📷▶ ボタンを押して、液晶モニターを点灯させてください。

録音中には、以下の操作ができます。

録音を一時停止/再開する	OK	一時停止中は、セルフタイマーランプとフラッシュランプが点滅します。
インデックスを付ける	OK	再生時に目的の場所が見つけやすいように、インデックス（しおり）を付けます。録音開始時のインデックスが 1 で、その後マルチセレクターを**上下左右**に倒すたびに、連番（最大 98）でインデックスが付けられます。
録音を終える	シャッターボタン	録音中にもう一度シャッターボタンを全押しすると、録音が終了します。

音声データについてのご注意

音声レコード機能で録音した音声データを、PictureProject でパソコンに転送することはできません。音声データをパソコンに転送したいときは、セットアップメニューの［インターフェース］→［USB］を［Mass Storage］にしてからパソコンと接続（P.75 ～ 77）し、パソコン側でのファイル操作によってコピーしてください。

パソコンにコピーした音声データは、QuickTime などのソフトウェアで再生できます。なお、パソコンでの再生時は、カメラで付けたインデックスは機能しません。

音声レコードメニュー

音声レコードモードで MENU ボタンを押すと、音声レコードメニューが表示されます。

セットアップ	セットアップメニュー（P.101）に移ります。
音質設定	録音時の音質を設定します。

音質設定

録音時の音質を以下の 2 種類から選べます。

	標準	長時間の録音に適しています。
	高	高音質で録音できます。

- 設定内容は、セットアップメニューの［設定クリアー］（P.110）を行うまで、記憶されます。

音声を再生する

※［音声データ選択］画面は、再生時にモード選択画面からの操作で表示することもできます（P.11、27）。この場合、その後電源を OFF にしたり、 ボタンを押すと、前回撮影時に選択したモードにかかわらず、音声レコードモード（P.53）になります。

音声データ再生についてのご注意

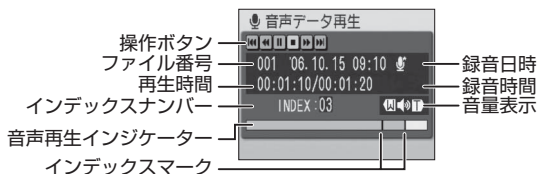
［音質設定］を［高］にして録音した音声データは、早送り / 巻き戻し再生時に音声が鳴りません。

3

音声データが再生される

再生中の操作方法については以下をご覧ください。

音声データ再生中の操作

再生中は、下のような画面が表示されます。

音声の再生中は、ズームレバーで音量（4 段階）を調節できます。
また、画面上部に表示される操作ボタンによって、以下の操作が行えます。
マルチセレクターを**左右**に倒して、操作ボタンを切り換えてください。

巻き戻し	◀◀	Ⓚ ボタンを押している間、巻き戻されます。
早送り	▶▶	Ⓚ ボタンを押している間、早送りされます。
前の インデックスへ	|◀◀	Ⓚ ボタンを押すと、前のインデックスに戻ります。
次の インデックスへ	▶▶|	Ⓚ ボタンを押すと、次のインデックスに進みます。
一時停止	II	Ⓚ ボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中には、以下の操作ができます。 ▶ Ⓚ ボタンを押すと、再生を再開します。 ■ Ⓚ ボタンを押すと、音声データ選択画面に戻ります。
再生終了	■	Ⓚ ボタンを押すと、音声データ選択画面に戻ります。

ヒント 音声データを削除するには

音声データを削除したいときは、再生中に 🗑 ボタンを押してください。

音声データをコピーする

内蔵メモリーから SD カードに、または SD カードから内蔵メモリーに、音声データをコピーすることができます。この機能は、カメラに SD カードが入っていないときには、使うことができません。

1

[音声データ選択] 画面（P.55 のステップ 1）で、MENU ボタンを押す

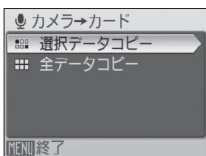
2

コピーの方向※を選んで ㊙ ボタンを押す

※ IN→SD：内蔵メモリーから SD カードへ
SD→IN：SD カードから内蔵メモリーへ

3

コピーの方法を選んで ㊙ ボタンを押す

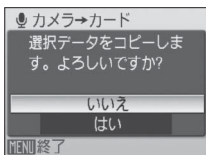
[**選択データコピー**] →ステップ 4 へ
[**全データコピー**] →ステップ 5 へ

4

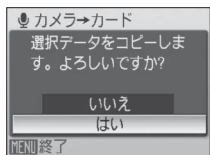
コピーするデータを選んでマルチセレクターを右に倒す

コピーしたいデータすべてに ✓ を付けます。

5

確認画面が表示される

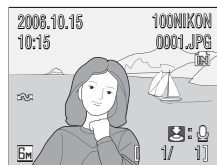
6

[はい] を選んで ㊙ ボタンを押す

音声データがコピーされます。

音声データコピーについてのご注意

他社製のカメラで録音した音声データに対しては、音声データコピー機能の動作は保証しておりません。

再生機能を使いこなす

1 コマずつ再生する—1 コマ再生モード

撮影時に 📷▶ ボタンを押すと、画像が 1 コマずつ再生される「1 コマ再生モード」になります。縦長の構図（縦位置）で撮影した画像は、自動的に回転して表示されます。

1 コマ再生モードでは、以下の操作ができます。

次の画像を見る / 前の画像を見る	OK / OK	P.29
画像を削除する	🗑 ボタン	P.59
画像を拡大表示する	ズームレバーを T（🔍）方向に倒す	P.60
サムネイル表示モードに切り換える	ズームレバーを W（▦）方向に倒す	P.59
再生モードメニューを表示する	m ボタン	P.11
再生メニューを表示する	MENU ボタン	P.94
音声メモを録音 / 再生する	シャッターボタン	P.63
暗い部分を明るく補正する（D- ライティング）	補正 ボタン	P.62
動画表示時：動画を再生する	OK ボタン	P.52
撮影に戻る	📷▶ ボタン	—

ヒント 画像の再生について

- 電源が OFF のときに 📷▶ ボタンを 1 秒以上押し続けると、1 コマ再生モードで電源を ON にすることができます。ただし、電源を OFF にする前のモードが音声レコードモード（撮影時；P.53）または音声データ再生モード（再生時；P.55）の場合には、音声データ再生モードになります。
- 内蔵メモリーに記録した画像を再生したいときは、SD カードをカメラから取り出してから、再生してください。
- カメラを操作しない状態が約 1 分（初期設定）続くと、液晶モニターが自動的に消灯します。そのまま約 3 分経過すると、電源が自動的に OFF になります（オートパワーオフ機能；P.108）。

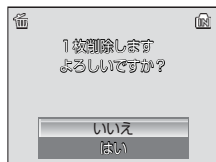
複数の画像を一覧表示する―サムネイル表示モード

1コマ再生モード（P.58）でズームレバーを **W**（サムネイル）方向に倒すと、画像を一覧できる「サムネイル表示モード」になります。

サムネイル表示モードでは、以下の操作ができます。

操作	方法	参照
画像を選ぶ	（マルチセレクター）	—
表示コマ数を切り換える（4→9→16コマ）	ズームレバーを **W**（サムネイル）方向に倒す	—
表示コマ数を切り換える（16→9→4→1コマ）	ズームレバーを **T**（拡大）方向に倒す	—
選択中の画像を削除する	削除ボタン	下記
1コマ再生モードに切り換える	OKボタン	P.58
再生モードメニューを表示する	mボタン	P.11
再生メニューを表示する	MENUボタン	P.94
暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）	D-ライティングボタン	P.62
撮影に戻る	撮影/再生ボタン	—

画像を削除する

1コマ再生モードとサムネイル表示モードで削除ボタンを押すと、右の画面が表示されます。[はい] を選んでOKボタンを押すと、表示中または選択中の画像が削除されます。

画像を拡大表示する

1コマ再生モード（P.58）でズームレバーを**T**（Q）方向に倒すと、表示中の画像の中央部が約3倍の大きさに拡大表示されます（クイック拡大モード）。画面右下に表示されるガイドを参考に、マルチセレクターを**上下左右**に倒して、表示される部分を切り換えてください。シャッターボタンを押すと、トリミング（P.61）が行えます。

クイック拡大モードでズームレバーを操作すると、拡大倍率を自由に変更できる「拡大表示モード」に切り替わります。画面上部に拡大率が表示され、最大約10倍まで拡大できます。倍率が1倍になると、1コマ再生モード（P.58）に戻ります。

拡大表示モードでは、以下の操作ができます。

拡大する	ズームレバーを **T**（Q）方向に倒す	—
縮小する	ズームレバーを **W**（▦）方向に倒す	—
画面をスクロール（移動）させる	OK	—
画像を削除する	🗑 ボタン	P.59
1コマ再生モードに戻る	OK ボタン	P.58
再生モードメニューを表示する	m ボタン	P.11
再生メニューを表示する	MENU ボタン	P.94
画像の不要な部分を取り除く（トリミング）	シャッターボタン	P.61
撮影に戻る	📷▶ ボタン	—

縦位置画像の拡大表示ついてのご注意

縦位置の画像（P.29）は、クイック拡大モードや拡大表示モードでは、回転表示されません。1コマ再生モードでズームレバーを**T**（Q）方向に1回倒すと横位置表示に切り替わり、もう一度**T**（Q）方向に倒すと、横位置のままクイック拡大モードになります。

画像の不要な部分を取り除く—トリミング

拡大表示（P.60）中に マークが表示されている画像は、不要な部分を切り落として構図を整えること（トリミング）ができます。

1

画像を拡大表示する

2

必要な部分だけが表示されるように、拡大率や表示範囲を調節する

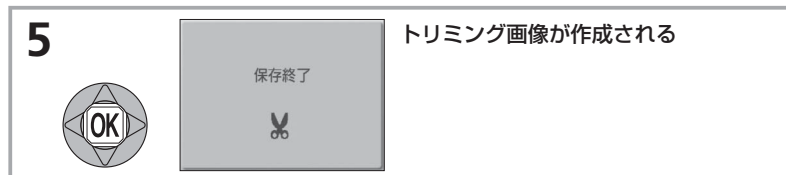
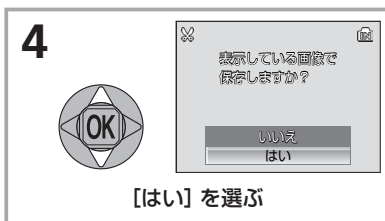
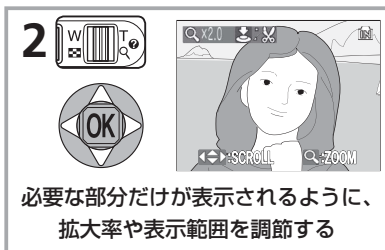
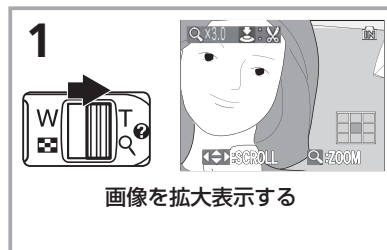
3

確認画面が表示される

4

［はい］を選ぶ

5

トリミング画像が作成される

- トリミング画像は、元画像とは別の画像（圧縮率約 1/8）として保存されます。画像サイズは、以下の中からカメラが自動的に決定します（元画像の画像モードやトリミング範囲によって異なります）。
  - 5M 2592 × 1944
  - 3M 2048 × 1536
  - 2M 1600 × 1200
  - 1M 1280 × 960
  - PC 1024 × 768
  - TV 640 × 480
  - 320 × 240
  - 160 × 120

  （単位：ピクセル）

元画像とトリミング画像の関係：P.126
トリミング画像のファイル名：P.127

暗い部分を明るく補正する—D- ライティング

１コマ再生モード（P.58）やサムネイル表示モード（P.59）で ボタンを押すと、画像の暗い部分だけを明るく補正することができます（D- ライティング）。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなってしまった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなってしまった画像などに効果的です。

1

1 コマ再生モード / サムネイル表示モードで、 ボタンを押す

補正後の見本が表示されます。

2

［実行］を選ぶ

3

保存終了

補正画像が作成される

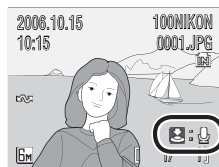
D- ライティング前

D- ライティング後

- D- ライティング画像は、元画像とは別の画像として保存されます。
- D- ライティングを行った画像は、再生時の表示で確認できます（P.12 ～ 13）。

元画像と D- ライティング画像の関係：P.126
D- ライティング画像のファイル名：P.127

画像に音声メモを付ける

1コマ再生モード（P.58）で 🎤 マークが表示されている画像には、カメラのマイク（P.8）を使って、音声によるメモを付けることができます。

音声メモを録音するには

シャッターボタンを深く押し込んでいる間、約 20 秒までの音声メモを録音できます。録音中は、マイクに触れないようにご注意ください。シャッターボタンから指を放すか、約 20 秒経過すると、録音が終わります。

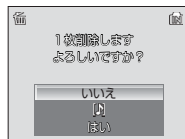
- 音声メモを付けた画像は、再生時の表示で確認できます（P.12 ～ 13）。

音声メモを再生するには

音声メモ付き画像を表示してシャッターボタンを深く押し込んでください。ズームレバーで音量（4 段階）を調節できます。途中で再生をやめるには、もう一度シャッターボタンを深く押し込んでください。

ヒント 音声メモを削除するには

音声メモ付き画像を表示して 🗑 ボタンを押すと、右のような画面が表示されます。

- [♪] を選んで Ⓚ ボタンを押すと、音声メモだけが削除されます。
- [はい] を選んで Ⓚ ボタンを押すと、画像と音声メモが削除されます。

音声メモについてのご注意

- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。この場合、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX S10 以外のカメラで撮影した画像に対して、COOLPIX S10 で音声メモを録音することはできません。また、COOLPIX S10 以外のカメラで録音した音声メモを、COOLPIX S10 で再生することはできません。

音声メモのファイル名：P.127

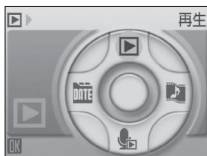
特定の日付の画像を表示する

特定の日付に撮影した画像だけを表示することができます。その日付の画像をまとめて削除したり、プリント指定やプロテクト設定、転送マークなどの各種設定を一度に行うこともできます。

撮影日一覧モード

画面に表示される撮影日一覧から日付を選びます。

1

再生時に m ボタンを押す

2

[撮影日一覧] を選ぶ

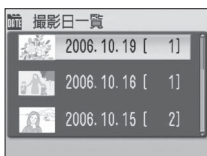
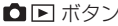
3

撮影日一覧モードに切り替わる

- 撮影画像のある日付が一覧表示されます。※
- この画面を、「撮影日一覧表示」と呼びます。

4

日付を選ぶ

※ 表示される撮影日は最大 30 日分です。撮影日が 31 日以上ある場合は、最新の 29 日分の撮影日に加え、[過去画像] という項目が表示されます。[過去画像] には、日付別に表示される 29 日分以外のすべての画像がまとめられています。

5

1 コマ表示に切り替わる

- ステップ 4 で選んだ日に、最初に撮影した画像が表示されます。
- この画面を、「1 コマ表示」と呼びます。

撮影日一覧モードの操作方法

撮影日一覧表示時の操作

日付を選ぶ	OK	—
その日付のすべての画像を削除する	🗑 ボタン	P.59
再生モードメニューを表示する	m ボタン	P.11
メニューを表示する	MENU ボタン	P.66
1 コマ表示に切り換える	OK ボタン	—
撮影に戻る	📷▶ ボタン	—

1 コマ表示時の操作

次の画像を見る / 前の画像を見る	OK / OK	P.29
画像を削除する	🗑 ボタン	P.59
画像を拡大する	ズームレバーを T 方向に倒す	P.60
再生モードメニューを表示する	m ボタン	P.11
メニューを表示する	MENU ボタン	P.66
音声メモを録音 / 再生する	シャッターボタン	P.63
暗い部分を明るく補正する（D- ライティング）	ボタン	P.62
動画表示時：動画を再生する	OK ボタン	P.52
撮影日一覧表示に切り換える	ズームレバーを W 方向に倒す	—
撮影に戻る	📷▶ ボタン	—

ヒント 撮影日一覧モードの再生画面について

撮影日一覧モードでは、撮影日時の表示場所が、1 コマ再生モード（P.58）の再生画面（P.12 ～ 13）と異なります。また、フォルダ名とファイル名は表示されません。

撮影日一覧モード（W: DATE）

2006.10.16
15:10

撮影日時

撮影日一覧モードのメニュー

撮影日一覧モードで MENU ボタンを押すと、特定の日付の画像だけを対象に、以下の 7 種類の処理が行えます。それぞれの内容については、再生メニュー（P.94 ～ 100）をご覧ください。

プリント指定	P.83
スライドショー	P.96
削除	P.97
プロテクト設定	P.97
転送マーク設定	P.97
画像回転※	P.98
スモールピクチャー※	P.99

※ 1 コマ表示時のみ

撮影日一覧表示時と、1 コマ表示時では、処理の対象となる画像の指定方法が異なります。

【撮影日一覧表示時】

選択している日付に撮影したすべての画像を対象に、一括して処理が行われます。

【1 コマ表示時】

表示中の画像と同じ日付の画像すべてが対象になりますが、個々の画像に対して個別に処理の有無を設定できます。

撮影日一覧モードについてのご注意

- 撮影日一覧モードで認識できる画像は、それぞれの撮影日に対して 9000 コマまでです。9000 コマを超える画像がある場合は、撮影日一覧のコマ数の横に「＊」マークが表示されます。＊マークの日付には、実際にはそれ以上の画像が含まれていることを示しています。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、表示されません。

［プリント指定］、［転送マーク設定］についてのご注意

撮影日一覧表示時に［プリント指定］や［転送マーク設定］を行うと、**内蔵メモリー /SD カード内のすべての画像（他の日付の画像も含む）のプリント指定（または転送マーク設定）が解除されます**。これらのメニューを実行すると、最初に［現在のプリント指定（または転送マーク設定）を全て取消します。よろしいですか？］という確認画面が表示されます。［はい］を選んで設定を解除してから、改めてプリント指定（または転送マーク設定）を行ってください。

Pictmotion を楽しむ

撮影した画像をつなげ、お好みの「スタイル」(画像効果) や BGM にのせて再生する「Pictmotion (ピクトモーション)」を楽しむことができます。**この機能は、カメラに SD カードが入っているときのみ使うことができます。**

Pictmotion は muvee Technologies 社の技術によるものです。

Pictmotion を作る

まずは、最も簡単な方法で Pictmotion を作ってみましょう。

1

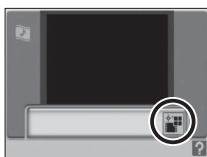
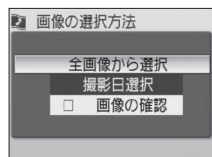
再生時に m ボタンを押す

2

[Pictmotion] を選んで ⓚ ボタンを押す

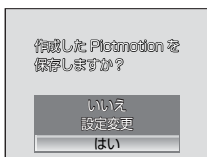
3

を選んで ⓚ ボタンを押す

4

[全画像から選択] を選んで ⓚ ボタンを押す

自動的に最新の画像 10 コマ (初期設定) を使って、Pictmotion が作成されます。

5

Pictmotion が自動再生された後、保存確認画面が表示される

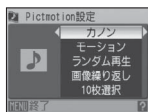
6

[はい] を選んで ⓚ ボタンを押す

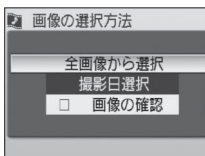
Pictmotion が保存され、ステップ 3 の画面に戻ります。

次に、画像やBGM、スタイル（画像効果）などを自分で選んで、Pictmotion を作る方法をご紹介します。

1

前ページのステップ 3 の画面を表示する

MENU ボタンを押すと、[Pictmotion 設定]（P.70）画面が表示され、新規作成する Pictmotion の BGM やスタイルなどを事前に設定できます。

を選んで Ⓞ ボタンを押す

2

[画像の選択方法] 画面を表示する

画像を 1 コマずつ指定したい場合は、マルチセレクターで [画像の確認] を選び、Ⓞ ボタンを押して、チェックボックスをオン ☑ にしてください。その後で、[全画像から選択] または [撮影日選択] を選んでください。

[全画像から選択] を選んで Ⓞ ボタンを押す

[撮影日選択] を選んで Ⓞ ボタンを押す

3

撮影日を選ぶ

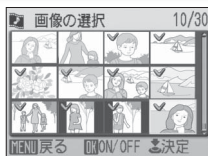
2006.10.19	[4]
2006.10.16	[4]
2006.10.15	[12]
設定枚数	[16]

撮影日選択 / MENU 戻る　OK ON/OFF　決定

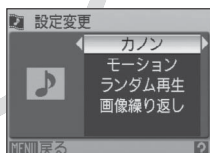
マルチセレクターを**上**か**下**に倒して撮影日を選び、Ⓞ ボタンでオン（✔ マークあり）/ オフ（無し）を切り換えてください。

シャッターボタンを押す

ステップ2で [画像の確認] のチェックボックスをオフ □ にした場合は、ステップ 4 は表示されず、自動的にステップ 5 に進みます。

4

画像を選ぶ

マルチセレクターを**上下左右**に倒して画像を選び、Ⓞ ボタンでオン（✔ マークあり）/ オフ（無し）を切り換えてください。画像は 30 コマまで選べます。ズームレバーを **T** 方向に倒すと 1 コマ表示に切り替わり、**W** 方向に倒すと元に戻ります。

Pictmotion のファイル名とフォルダ名：P.127

再生機能を使いこなす

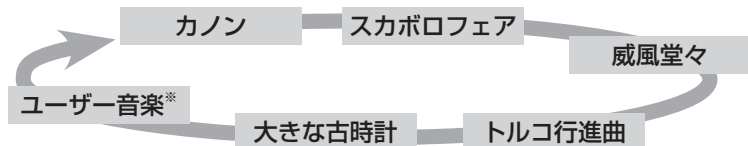
Pictmotion についてのご注意

- 動画を含んだ Pictmotion を作ることもできますが、動画は一部だけが再生されます。また、60 秒を超える動画は、最初の 60 秒の一部だけが再生されます。
- Pictmotion は 1 枚の SD カードにつき 20 個まで保存できます。すでに 20 個の Pictmotion が保存されている場合、Pictmotion を新規作成することはできません。新規作成したいときは、作成済みの Pictmotion を 1 つ削除してください。
- Pictmotion に使った画像は、自動的にプロテクト設定（P.97）されます。

Pictmotion の設定

P.68 ～ 69 のステップ 1 や 7 で［Pictmotion 設定］画面や［設定変更］画面を表示すると、下のような画面が表示され、Pictmotion のスタイル（画像効果）や BGM を変更することができます。マルチセレクターを**上**か**下**に倒して設定項目を切り換え、**左**か**右**に倒して内容を変更してください。

Pictmotion の BGM を選びます。

ズームボタンを **T** 方向に倒すと、BGM を試聴できます（ユーザー音楽は試聴できません）。ユーザー音楽にはお好みの音楽をパソコンから転送し、BGM として追加できます（1 曲 3 分まで、最大 3 曲）。追加する場合は、お好みの音楽を PictureProject からカメラ内の SD カードに転送してください（Windows のみ、P.71 のヒント参照）。

※ パソコンから転送された場合のみ表示されます。

何コマの画像を Pictmotion に使うかを選びます。※

※ この項目は、P.68 のステップ 1 で［Pictmotion 設定］を選んだ場合に表示されます。P.69 のステップ 7 で［設定変更］を選んだ場合には、表示されません。

例えば［20 枚選択］を選んだ場合、最後に撮影した画像から順に 20 コマが、Pictmotion に使う画像として指定されます。ただし、P.68 のステップ 2 で［画像の確認］チェックボックスをオン ☑ にした場合は、ステップ 4 で指定内容を変更することができます。

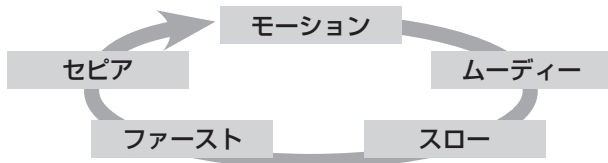
再生機能を使いこなす

ヒント PictureProject との連携について（Windows のみ）

付属のソフトウェア PictureProject を使うと、カメラで作成した Pictmotion をパソコンに転送し、パソコンで再生することができます。また、Pictmotion に用いる BGM（1 曲 3 分まで、最大 3 曲）をパソコンからカメラ内の SD カードに追加することもできます（**Windows 2000 で BGM をパソコンからカメラに転送するときは、必ずカメラのセットアップメニュー[インターフェース]→[USB]（P.110）を、[Mass Storage] にしてください**）。

なお、**これらの機能は Macintosh では使うことができません。**

スタイル（画像効果）を選びます。

ズームボタンを **T** 方向に倒すと、画面の左側にスタイルの見本が表示されます。

画像が再生される順序を選びます。

ランダム再生 ⟷ 通常再生

（カメラが再生順を自動的に決めます）　（撮影した順番に再生されます）

Pictmotion 作成時に、すべての画像が表示されることを優先するか、BGM の長さに合わせることを優先するかを選びます。

画像繰り返し ⟷ 音楽繰り返し

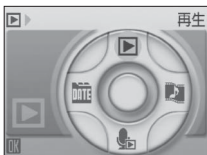
画像繰り返し	BGM1 回分の長さに合わせて Pictmotion の長さが決まります。すべての画像が再生されない場合があります。
音楽繰り返し	すべての画像が表示されるように、BGM の再生回数（＝ Pictmotion の長さ）が決まります。

いずれの場合も、BGM の長さに合わせて同じ画像が繰り返し表示される場合があります。

Pictmotion を再生する

1

再生時に ⓜ ボタンを押す

2

[Pictmotion] を選んで
Ⓚ ボタンを押す

3

作成した Pictmotion を選ぶ

4

[Pictmotion] 画面が表示される

5

[再生] を選んで Ⓚ ボタンを押す

- 再生が始まります。
- 繰り返し再生するには、[エンドレス] を選んで Ⓚ ボタンを押し、チェックボックスをオン ☑ にしてください。
- 再生中はズームレバーで音量 (4 段階) を調節できます。
- 再生中に Ⓚ ボタンを押すと、停止します。

6

[終了] を選んで Ⓚ ボタンを押す

- ステップ 3 の画面に戻ります。
- [再開] を選んで Ⓚ ボタンを押すと、もう一度再生されます。

ヒント Pictmotion を削除するには

Pictmotion を削除するには、上記ステップ 3 で削除したい Pictmotion を選んでから、🗑 ボタンを押してください。Pictmotion を削除しても、元画像のプロテクト設定 (P.97) は解除されません。

テレビやパソコン、プリンターに接続する

撮影した画像は、カメラで再生するだけでなく、以下のような方法で楽しむことができます。

- テレビで画像を見る
- 動画をビデオに録画する
- パソコンに転送して整理、加工する
- プリンターでプリント（印刷）する
- プリントサービス店にプリントを依頼する

この章では、テレビに接続する方法（P.74）、パソコンに接続する方法（P.75）、プリンターと接続する方法（P.79）について説明します。カメラをこれらの機器と接続するときは、セットアップメニューの［インターフェース］の設定変更が必要な場合があります。セットアップメニューの表示方法については、P.101 をご覧ください。

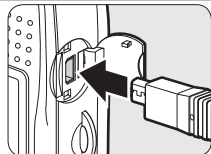
テレビやパソコン、プリンターなどと接続するときは、途中でバッテリーが切れることがないように、別売の AC アダプターキット EH-62A または充分に充電したバッテリーをお使いいただくことをおすすめします。

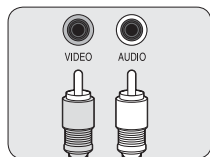
テレビに接続する

1 **お使いのテレビに合わせて（下記ヒント参照）、セットアップメニューの［インターフェース］→［ビデオ出力］（P.110）を設定する**

2 **カメラの電源を OFF にする**

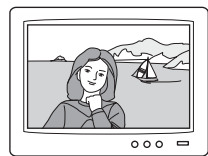
3 **付属の AV ケーブルをカメラに接続する**

端子カバーを開け、AV ケーブルの黒いプラグをカメラのケーブル接続端子に接続してください。

4 **付属の AV ケーブルをテレビに接続する**

AV ケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

5 **テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える**

詳しくはテレビの使用説明書をご覧ください。

6 **📷▶ ボタンを 1 秒以上押す**

- カメラの電源が ON になり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- カメラの液晶モニターは消灯したままです。

ヒント **ビデオ出力について**

［ビデオ出力］メニューの［NTSC］と［PAL］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本では NTSC 方式が、欧州では PAL 方式が主流です。

パソコンに接続する

画像をパソコンに転送して保存するには、付属のソフトウェア「PictureProject（ピクチャープロジェクト）」をパソコンにインストールする必要があります。インストールの方法や画像の転送方法については、簡単操作ガイドやPictureProjectソフトウェア使用説明書CD-ROM（銀色）をご覧ください。

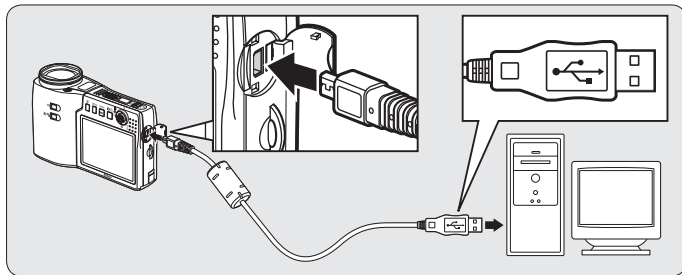
1 PictureProjectがインストールされたパソコンを起動する

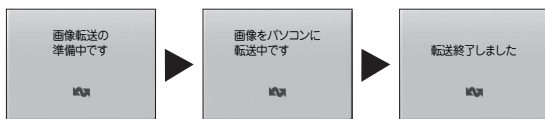
2 パソコンのOSに合わせて、セットアップメニューの［インターフェース］→［USB］を設定する（P.110）

3 カメラの電源をOFFにする

4 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続する

5 カメラの電源をONにする

6

Ⓞ ボタンを押す※

- 転送が始まります。転送マーク（下記ヒント参照）が付いている画像が、パソコンに転送され、PictureProject に表示されます。
- カメラには以下のように表示されます。

※ 以下の場合、カメラの Ⓞ ボタンでは、画像を転送できません。下記ヒントをご覧の上、PictureProject の［転送］ボタンで転送してください。

- 内蔵メモリー使用時で、［USB］を［Mass Storage］にしている場合
- SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されている場合 （P.18）
- Pictmotion を転送する場合 （P.71）

7

転送が終わったら、カメラとパソコンの接続を外す

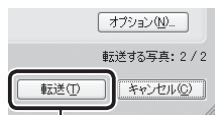
詳しくは P.78 をご覧ください。

ヒント 転送マーク（転送マーク）について

再生時に 転送マーク マークが付いている画像は、パソコンとの接続時に Ⓞ（転送）ボタンを押すと、パソコンに転送されます。初期設定ではすべての画像に転送マークが付くようになっています。転送マークを付けたり外したりするには、以下の 2 通りの方法があります。

これから撮影する画像すべてを対象に、転送マークを付けるかどうかを設定するには	**セットアップメニューの［インターフェース］→［転送設定］（P.110）**
撮影済みの画像を対象に、個別に転送マークを付けたり外したりするには	**再生メニューの［転送マーク設定］（P.97）**

ヒント PictureProject の［転送］ボタンで画像を転送する

PictureProject の［転送］ボタンで画像を転送することもできます。ステップ 6 で、Ⓞ ボタンを押す代わりに、PictureProject の［転送］ボタンを押してください。この場合、転送マークの有無にかかわらず、すべての画像がパソコンに転送されます。詳しくは簡単操作ガイドまたは PictureProject ソフトウェア使用説明書 CD-ROM をご覧ください。

［転送］ボタン

セットアップメニュー［インターフェース］→［USB］の設定について

パソコンのOSに合わせて、セットアップメニューの［インターフェース］→［USB］(P.110) で、USB通信方式を以下のように設定してください。初期設定は［PTP］です。

パソコンのOS	カメラの ⓚ ボタンで転送するとき※	PictureProjectの［転送］ボタンで転送するとき
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	PTPまたは Mass Storage	
Windows 2000 Professional	Mass Storage	
Mac OS X（10.3.9以降）	PTP	PTPまたは Mass Storage

※ 以下の場合、カメラの ⓚ ボタンでは、画像を転送できません。PictureProjectの［転送］ボタンで転送してください。

- 内蔵メモリー使用時で、［USB］を［Mass Storage］にしている場合
- SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されている場合 (P.18)
- Pictmotionを転送する場合 (P.71)

Windows 2000 Professionalをお使いの方へのご注意

USB通信方式は必ず［Mass Storage］に変更してください。誤って［PTP］に設定してパソコンと接続した場合は、［新しいハードウェアの検索ウィザードの開始］と表示されるので、［キャンセル (中止)］を選んで画面を閉じてから、パソコンとカメラの接続を外してください。

カメラとパソコンの接続を外すには

- **USB 通信方式が [PTP] の場合：**カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

- **USB 通信方式が [Mass Storage] の場合：**USB ケーブルを外したり、カメラの電源を OFF にしたりする前に、必ず次の操作を行ってください。

  - Windows XP Home Edition/Windows XP Professional の場合：

    パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックして、［USB 大容量記憶装置デバイス—ドライブ（E:）※を安全に取り外します］を選んでください。

  - Windows 2000 Professional の場合：

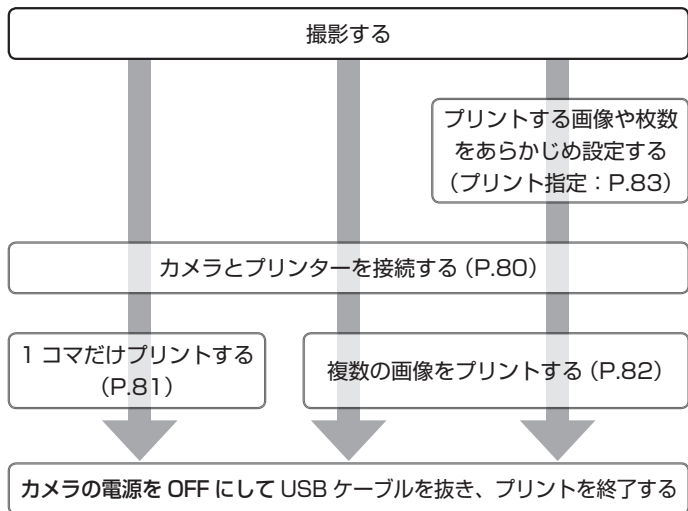
    パソコン画面右下の［ハードウェアの取り外しまたは取り出し］アイコンをクリックして、［USB 大容量記憶装置デバイス—ドライブ（E:）※を停止します］を選んでください。

※ ドライブ（E:）の「E」は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

  - Mac OS X の場合：

    デスクトップ上の「NO NAME」アイコンをゴミ箱に捨ててください。

プリンターに接続する

PictBridge（P.128）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントすることができます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下の通りです。

ヒント **撮影した画像は、このほか以下のような方法でもプリントできます**

1. SD カードをプリンターのカードスロットに挿入してプリントする

プリンターの使用説明書をご覧ください。DPOF（P.128）対応プリンターなら、事前に［プリント指定］（P.83）を行い、指定通りにプリントすることもできます。

2. SD カードをプリントサービス店に持ち込んでプリントを依頼する

事前に［プリント指定］を行った場合は、DPOF 対応のプリントサービス店にお持ち込みください。

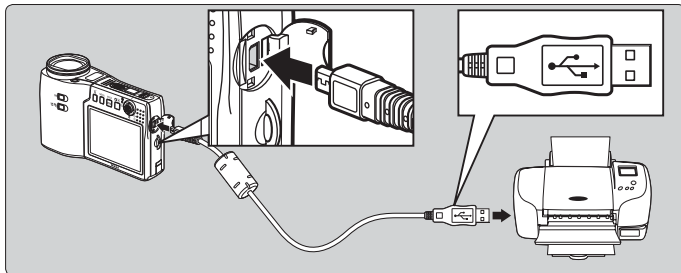
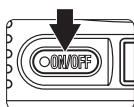
3. 画像をパソコンに転送してからプリントする

パソコンへの転送方法については P.75 ～ 77 をご覧ください。パソコンでのプリント方法はお使いになるソフトウェアやプリンターの使用説明書をご覧ください。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラの電源を OFF にする

2 プリンターの電源を ON にする

3 付属の USB ケーブルで、カメラとプリンターを接続する

4 カメラの電源を ON にする

正しく接続されると、カメラの液晶モニターに①の画面が表示された後、ダイレクトプリントのトップ画面（②）が表示されます。

ダイレクトプリント時のご注意

カメラとプリンターを接続する前に、必ずセットアップメニューの［インターフェース］→［USB］（P.110）を初期設定の［PTP］にしてください。

1 コマだけプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから (P.80)、以下の手順でプリントしてください。

1

ダイレクトプリントのトップ画面 (P.80) で、プリントしたい画像を選ぶ

ズームレバーを **W** (▣) 方向に倒して、6 コマ表示に切り換えて画像を選ぶこともできます。**T** (Q) 方向に倒すと、1 コマ表示に戻ります。

2

[PictBridge] 画面に移る

3

プリント枚数や用紙サイズを設定し、プリントを実行する

各項目を選んで ⓚ ボタンを押すと、それぞれの画面に移ります。

プリント実行	ⓚ ボタンを押すと、プリントが始まります。 • プリントが終わると、ステップ 1 の画面に戻ります。 • プリントを途中で中止したいときは、ⓚ ボタンを押してください。
プリント枚数設定	プリント枚数 (9 枚まで) を設定して、ⓚ ボタンを押してください。
用紙設定	プリントする用紙のサイズを設定して、ⓚ ボタンを押してください。プリンター側の設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選んでください。[プリンターの設定] 以外に、[L サイズ]、[2L サイズ]、[ハガキ]、[100 × 150mm]、[4 × 6 - in]、[8 × 10 - in]、[Letter]、[A4 サイズ]、[A3 サイズ] のうち、プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。

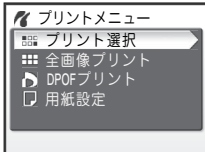
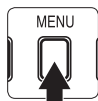
✔ 用紙設定についてのご注意

PictBridge 対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」を行うことができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。

- カメラ側からの「用紙設定」にプリンターが対応していない場合
- プリンターが自動的に用紙サイズを認識する場合

複数の画像をプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから (P.80)、以下の手順でプリントしてください。

1

ダイレクトプリントのトップ画面 (P.80) で、MENU ボタンを押す

[プリントメニュー] 画面が表示されます。

2

プリントする画像や用紙サイズ、プリント方法を設定する

各項目を選んで Ⓚ ボタンを押すと、それぞれの画面に移ります。

プリント選択	Ⓚ ボタンを押すと、プリントする画像の選択画面に移ります。ステップ 3 にお進みください。
全画像プリント	Ⓚ ボタンを押すと、すべての画像がプリントされます。プリントが終わると、ステップ 2 の画面に戻ります。
DPOF プリント	Ⓚ ボタンを押すと、右のような画面が表示されます。[プリント実行] を選んで Ⓚ ボタンを押すと、[プリント指定] (P.83) で指定した画像がプリントされます。[画像の確認] を選んで Ⓚ ボタンを押すと、確認画面が表示されます。ステップ 4 にお進みください。
用紙設定	P.81 のステップ 3 と同じです。

3

プリントする画像と、それぞれのプリント枚数 (9 枚まで) を設定する

- マルチセレクターを**左右**に倒して画像を選び、**上下**に倒してプリント枚数を設定してください。
- プリントされる画像には、🖶 マークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、🖶 マークが消え、その画像はプリントされません。

4

確認画面が表示される

画像を選び直したいときは、MENU ボタンを押してください。ステップ 3 の画面に戻ります。

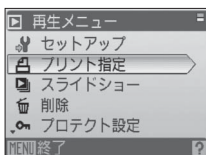
5

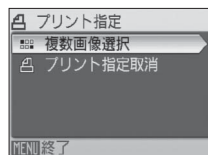
プリントが始まる

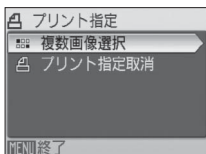
- プリントが終わると、ステップ 1 の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓚ ボタンを押してください。

プリントする画像や枚数をあらかじめ設定する（プリント指定）

DPOF（P.128）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントするときは、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめ指定することができます。撮影日時や撮影情報（シャッタースピードと絞り値）をプリントすることもできます。

1

再生メニュー（P.94）で［プリント指定］を選ぶ

2

［プリント指定］画面に移る

3

［複数画像選択］を選ぶ

［プリント指定取消］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、すべての画像に対するプリント指定が取り消されます。

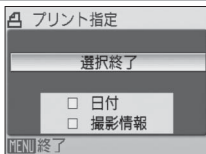
4

［プリント画像選択］画面に移る

5

プリントする画像と、それぞれのプリント枚数（9 枚まで）を設定する

- マルチセレクターを**左右**に倒して画像を選び、**上下**に倒してプリント枚数を設定してください。
- プリントされる画像には、マークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、マークが消え、その画像はプリントされません。

6

[プリント指定] 画面に移る

- [日付] を選んで ⓚ ボタンを押すと、撮影日が印字されます。
- [撮影情報] を選んで ⓚ ボタンを押すと、すべての画像に撮影情報が印字されます。
- [選択終了] を選んで ⓚ ボタンを押すと、設定が有効になります。

- [プリント指定] を行った画像は、再生時の表示で確認できます （P.12 ～ 13）。

ヒント 日付プリントについて

撮影日時入りの画像をプリントする方法は、2 通りあります。

- [プリント指定] の [日付] 設定を ON にする
- セットアップメニューの [デート写し込み] を使う：P.106

	プリント指定	デート写し込み
日付プリントの条件	DPOF 対応プリンターが必要	プリンターの種類に関係なく、常に日付プリントが可能
日付プリントの ON/OFF	プリントのたびに変更可能	日付が画像に直接写し込まれるため、撮影後の変更は不可

[デート写し込み] で日付を写し込んだ画像には、[プリント指定] による日付プリントはできません。

プリント指定についてのご注意

プリント指定を行った後、再び [プリント指定] メニューを表示すると、[日付] と [撮影情報] の設定はリセットされますのでご注意ください。

いろいろな設定

カメラの基本設定や撮影、再生に関する設定を行うには、おもにメニューを使います。ここでは、撮影、再生、セットアップ（カメラの基本設定）の 3 種類のメニューについて詳しく説明します。メニューの操作方法については、P.26 をご覧ください。

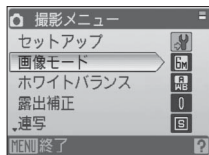
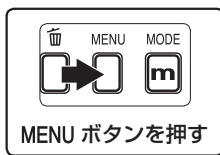
撮影に関する設定—撮影メニュー

ここで設定する内容は［画像モード］を除き、📷モードで撮影するときだけ有効になります。すべての設定内容は、セットアップメニューの［設定クリアー］（P.110）を行うまで、記憶されます。

項目	内容	参照
セットアップ	セットアップメニューを表示します。	P.101
画像モード	記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。	P.86
WB ホワイトバランス※	見た目に近い色で記録されるように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。	P.87
露出補正	画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときに露出の補正値を設定します。	P.88
連写※	連写（連続撮影）するかどうかを設定します。	P.89
BSS BSS※	ベストショットセレクター（最大 10 コマを連写し、最も鮮明な 1 コマをカメラが自動的に選んで記録する機能）について設定します。	P.91
ISO ISO 感度設定	被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。	P.92
ピクチャーカラー※	記録する画像の色調について設定します。	P.92
AF エリア選択	画面のどの位置でピントが合うかを設定します。	P.93

※ これらの機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。詳しくは P.126 をご覧ください。

撮影メニューの初期設定：P.124

撮影メニューを表示するには

画像モード

画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。画像の用途や内蔵メモリー/SD カードの残量に合わせて設定してください。以下の表で上にある画像モードほど、より精細な画像を大きくプリントすることができますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード	画像の大きさ（ピクセル）	内　容
高画質（2816★）	2816 × 2112	[標準] よりも精細な画像になります。圧縮率は約 1/4 です。
標準（2816）	2816 × 2112	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約 1/8 です。
エコノミー（2048）	2048 × 1536	[標準] よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約 1/8 です。
パソコン（1024）	1024 × 768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約 1/8 です。
TV（640）	640 × 480	電子メールへの添付や、テレビへの表示に適しています。圧縮率は約 1/8 です。

- 画像モードの設定状況は、液晶モニターで確認できます（P.12 ～ 13）。

1 枚の SD カードに記録できるコマ数：P.125

WB ホワイトバランス

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。初期設定の［オート］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

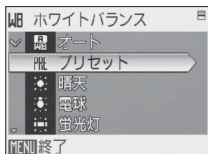
オート	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE プリセット	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは次ページをご覧ください。
晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
フラッシュ	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。

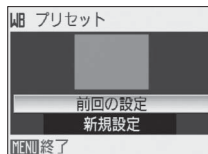
- ホワイトバランスの設定状況は、液晶モニターで確認できます（P.12 ～ 13）。［オート］のときは、何も表示されません。

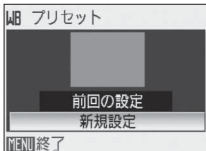
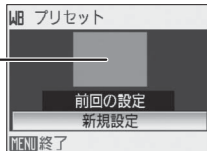
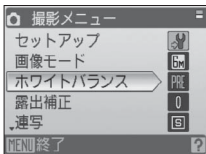
PRE *プリセットホワイトバランス*

特殊な照明の下で撮影するときなど、［オート］や［電球］などの設定では望ましい結果が得られない場合は、事前に取得（プリセット）したホワイトバランスを使うことができます。

1 撮影時に使う照明と、白またはグレーの被写体を用意する

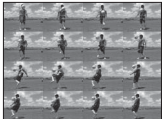
2

［ホワイトバランス］→［プリセット］を選ぶ

3

レンズが望遠側にズーミングする

［新規設定］を選ぶ※

用意した白またはグレーの被写体を測定窓に写す

※ 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、［前回の設定］を選んで Ⓚ ボタンを押してください。ホワイトバランスが前回取得したプリセットデータに変更されます。

プリセットデータが取得され、ホワイトバランスが変更される

プリセットホワイトバランスについてのご注意

プリセットデータ取得時には、フラッシュは発光しません。このため、フラッシュ撮影時のホワイトバランスを測定することはできません。

露出補正

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。露出補正値は－ 2.0EV ～＋ 2.0EV の範囲で、1/3 段ごとに設定できます（＋にすると明るく、－にすると暗くなります）。

- 露出補正の設定状況は、液晶モニターで確認できます （P.12 ～ 13）。［0］のときは、何も表示されません。また、設定に応じて、画面に表示される被写体の明るさも変わります。

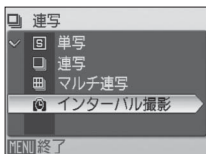
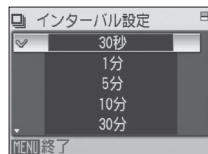
連写

連写（連続撮影）するための設定です。[連写] または [マルチ連写] にするとフラッシュが発光禁止になり、ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の 1 コマと同じ条件に固定されます。

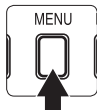
単写	1 コマずつ撮影します。
連写	シャッターボタンを深く押し込んでいる間、最速約 1.6 コマ / 秒で連写できます。画像モードが 6M 標準（2816）の場合、連続約 5 コマ撮影できます。
マルチ連写	シャッターボタンを 1 回深く押し込むと、約 1.9 コマ / 秒で、右のような 16 コマの連続写真を撮影します。撮影した画像は、画像モード [6M 標準（2816）] で記録されます。
インターバル撮影	あらかじめ設定した撮影間隔（インターバル）で、静止画を自動的に連続撮影（最大 1800 コマ）します。

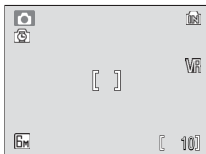
- 連写モードの設定状況は、液晶モニターで確認できます（P.12 ～ 13）。[単写] のときは、何も表示されません。

インターバル撮影の手順

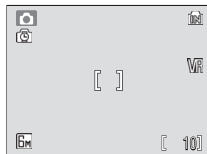
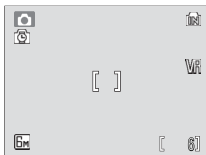
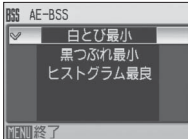
インターバル撮影の際は、途中でバッテリーが切れることがないように、充分に充電したバッテリーをお使いいただくことをおすすめします。

[連写] → [インターバル撮影] を選んで、OK ボタンを押す

撮影間隔を選んで OK ボタンを押す

[インターバル撮影] で撮影した画像のファイル名とフォルダ名：P.127

3

撮影画面に戻る

4

シャッターボタンを全押しして、撮影を始める

撮影の合間は、液晶モニターが消灯してフラッシュランプが点滅します。次のコマの撮影直前になると、自動的に再点灯します。

5

もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終える

内蔵メモリー /SD カードの残量が無くなったときや、撮影コマ数が 1800 コマに達したときは、撮影が自動的に終了します。

BSS BSS

手ブレしやすい状況や、露出調整が難しい状況での撮影に便利なBSS(ベストショットセレクター) 機能について設定します。[ON] または [AE-BSS] にすると、フラッシュが発光禁止になり、ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の 1 コマと同じ条件に固定されます。

<table>
<tr><td>BSS ON</td><td>暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況での撮影に有効です。シャッターボタンを深く押し込んでいる間、連写を続け (最大 10 コマ)、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている 1 コマをカメラが自動的に選んで記録します。</td></tr>
<tr><td>BSS OFF</td><td>通常通り、1 コマずつ撮影します。</td></tr>
<tr><td>AE AE-BSS</td><td>被写体の明暗差が激しい場面など、露出調整が難しい状況での撮影に有効です。[AE-BSS] を選んで ⓞ ボタンを押すと、右の画面が表示されます。どのような条件を優先するか、以下の 3 種類から選んでください。
BSS AE-BSS
白とび最小
黒つぶれ最小
ヒストグラム最良
MENU 終了
<table>
<tr><td>白とび最小</td><td>露出オーバーによる白とびが最も少ない画像が記録されます。</td></tr>
<tr><td>黒つぶれ最小</td><td>露出アンダーによる黒つぶれが最も少ない画像が記録されます。</td></tr>
<tr><td>ヒストグラム最良</td><td>白とびや黒つぶれが少なく、画像全体の露光量が最も標準的な画像が記録されます。</td></tr>
</table>
シャッターボタンを 1 回押す (押し続ける必要はありません) と、5 コマの画像を連続撮影し、その中から設定した条件に最も近い 1 コマだけを、カメラが自動的に選んで記録します。</td></tr>
</table>

- BSS の設定状況は、液晶モニターで確認できます (P.12 ～ 13)。[OFF] のときは、何も表示されません。

BSS についてのご注意

BSS は静止している被写体の撮影に効果的ですが、動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

ISO ISO 感度設定

フィルムカメラで使うフィルムの ISO 感度に相当する数値を設定します。ISO 感度を高くすると、暗い場所や動いている被写体の撮影に効果的ですが、一方で、撮影した画像が多少ざらつく場合があります。

[オート] にすると、明るい場所では ISO50 相当になりますが、暗い場所では、自動的に ISO800 相当まで感度が高くなります。このほか、ISO50 ～ 800 相当に固定することもできます。

- ISO 感度の設定状況は、液晶モニターで確認できます (P.12 ～ 13)。[オート] のときは、ISO50 相当で撮影できるときは何も表示されず、感度が自動的に上がったときに、「**ISO**」マークが表示されます。

ピクチャーカラー

記録する画像の色調を変えます。

設定	説明
標準カラー	自然な色調になります。
ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
白黒	モノクロになります。
セピア	セピア色になります。
クール	ブルー系のモノトーンになります。

- ピクチャーカラーの設定状況は、液晶モニターで確認できます (P.12 ～ 13)。[標準カラー] のときは、何も表示されません。また設定に応じて、画面の色調も変わります。

AF エリア選択

画面のどの位置でピントが合うかを設定します。

中央	画面中央の被写体にピントが合います。
マニュアル	画面内の 99 カ所から、ピントを合わせたい位置を自分で選びます。画面に表示される AF エリアを、マルチセレクターの上下左右でピントを合わせたい位置に動かしてから、撮影してください。※ AF エリア 選択可能エリア

※ フラッシュモードやマクロモード、セルフタイマーの設定を変更したいときは、OK ボタンを押していったん AF エリア選択状態を解除してから、設定を行ってください。もう一度 OK ボタンを押すと、再び AF エリアを選べるようになります。

ヒント フォーカスロック撮影

[AF エリア選択] が [中央] のままでも、以下のようにピントを固定（フォーカスロック）する方法を使えば、構図を工夫して撮影することができます。

1

ピントを合わせたい被写体を画面中央に配置する

2

シャッターボタンを半押しする

ピントが合い、AF 表示が点灯します。

3

半押ししたまま構図を変える

被写体との距離は変えないでください。

4

そのまま全押しして撮影する

再生に関する設定―再生メニュー

メニューの操作方法については、P.26 をご覧ください。

セットアップ	セットアップメニューを表示します。	P.101
プリント指定	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	P.83
スライドショー	内蔵メモリー /SD カード内の画像を、自動的に連続再生します。	P.96
削除	画像を削除します。	P.97
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	P.97
転送マーク設定	撮影済みの画像に、パソコンに転送するための転送マークを付けます。	P.97
画像回転	撮影済みの画像を回転します。	P.98
スモールピクチャー	撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。	P.99
画像コピー	内蔵メモリーと SD カードの間で画像をコピーします。	P.100

再生メニューを表示するには

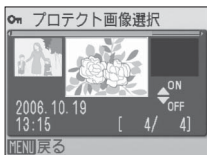
1 コマ再生モードにする（P.58）

MENU ボタンを押す

画像を選ぶ画面での操作

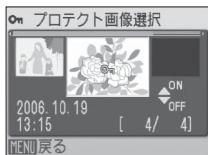
画像の削除やコピー、プリントなどを行うときは、以下のような画像選択画面が表示される場合があります。画像選択画面では、マルチセレクターを**左右**に倒して画像を選び、**上下**に倒して ON/OFF などの設定を行います。この手順を繰り返して、必要な画像すべてに対して設定を行ってから、中央の ⓞ ボタンを押すと、設定が完了します。

1

画像を選ぶ

2

ON/OFF（または枚数）を設定する

- マルチセレクターを**上下**に倒して ON/OFF やプリント枚数を設定してください。
- ON にすると、設定内容に応じたマークが表示されます。ステップ 1、2 の手順を繰り返し、すべての画像に対して設定を行ってください。

3

設定が有効になり、元の画面に戻る

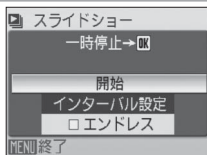
- 元の画面に戻る前に、確認メッセージが表示される場合があります。

凸 プリント指定

画像を DPOF(P.128) 対応プリンターなどでプリントするための設定を、あらかじめカメラで行うことができます。詳しくは P.83 をご覧ください。

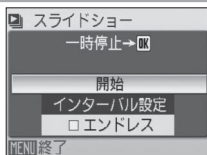
スライドショー

内蔵メモリー /SD カードに記録されている画像を、自動的に連続再生します。

1

再生方法を設定する

画像が表示される時間を変更するには、[インターバル設定] を選んで ⓚ ボタンを押し、間隔を選んでください。

繰り返し再生するには、[エンドレス] を選んで ⓚ ボタンを押し、□ を ☑ にしてください。

2

[開始] を選ぶ

3

スライドショーが始まる

- スライドショーの再生中は、
  - ・マルチセレクターを**右**に倒すと次の画像が、**左**に倒すと前の画像が表示されます（倒し続けると早送り / 巻き戻しになります）。
  - ・ⓚ ボタンを押すと一時停止します。
- スライドショー終了時や一時停止時には、左のように表示されます。[終了] を選ぶと再生メニューに戻り、[再開] を選ぶとスライドショーが再開されます。

スライドショーについてのご注意

- 動画 (P.52) は 1 フレーム目だけが表示されます。
- [エンドレス] で再生していても、何も操作しないで約 30 分経過すると、オートパワーオフ (P.108) が機能して、電源が OFF になります。

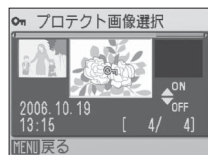
削除

画像を削除します。ただし、マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）が設定されているため、削除できません。

削除画像選択	画像選択画面（P.95）で、削除する画像を選びます。
全画像削除	すべての画像を削除します。

プロテクト設定

大切な画像を誤って削除してしまうことを防ぐために、画像にプロテクト（保護）を設定することができます。ただし、内蔵メモリー /SD カードを初期化（フォーマット、P.109）すると、プロテクトを設定した画像も削除されるので、ご注意ください。

- プロテクト設定した画像には、再生時にマークが表示されます（P.12 ～ 13）。

転送マーク設定

撮影した画像に、転送マーク（P.76）を付けたり外したりできます。

全 ON	すべての撮影済み画像に転送マークを付けます。
全 OFF	すべての撮影済み画像から転送マークを外します。
複数画像選択	画像選択画面（P.95）で、転送マークを付ける画像を選びます。

- 転送マークを付けた画像には、再生時にマークが表示されます（P.12 ～ 13）。

画像回転

縦位置で撮影した画像が横位置に、横位置で撮影した画像が縦位置に表示されるように、画像の縦横位置（姿勢）情報を変更できます。画像は90°単位で回転できます。

画像を回転するには、以下の操作を行ってください。

1

画像を選ぶ

2

［画像回転］画面が表示される

3

回転する角度を設定する※

- マルチセレクターを**右**に倒すと、選択した画像を時計回りに90°回転します。
- マルチセレクターを**左**に倒すと、選択した画像を反時計回りに90°回転します。

4

画像を回転する

- ステップ1～4の手順を繰り返し、回転させたい画像に対して設定を行ってください。
- MENU ボタンを押すと、再生メニューに戻ります。

※ 横位置で撮影した画像を回転する場合の操作です。セットアップメニューの［縦位置情報の記録］を初期設定の［オート］（P.108）にして、縦位置で撮影した画像の場合、時計回り / 反時計回りのどちらか一方向に180°回転できます。

画像回転についてのご注意

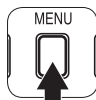
- 撮影後の画像を回転しても、［デート写し込み］（P.106）で写し込んだ日時の位置は変わりません。
- 動画は画像回転できません。

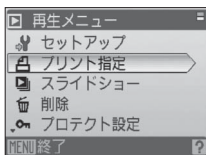
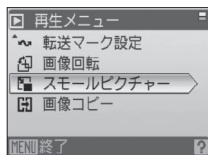
スモールピクチャー

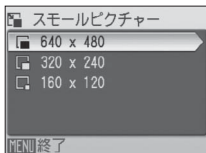
撮影した元画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。作成するスモールピクチャーの大きさは以下の3種類から選べます。

640 × 480	テレビでの表示に適しています。
320 × 240	ホームページでの使用に適しています。
160 × 120	電子メールへの添付に適しています。

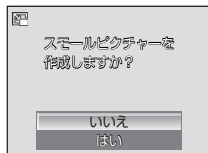
スモールピクチャーを作成するには、1コマ再生モード（P.58）でスモールピクチャーを作成したい画像を選んでから、以下の操作を行ってください。

1

再生メニューを表示する

2

［スモールピクチャー］を選んで ㊋ ボタンを押す

3

作成するスモールピクチャーのサイズを選ぶ

4

確認画面が表示される

［はい］を選んで ㊋ ボタンを押すと、スモールピクチャーが作成されます。

- スモールピクチャーは、元画像とは別の画像（圧縮率約1/16）として保存されます。
- スモールピクチャーには、再生時にグレーの枠が表示されます。1コマ再生モード時は、画像サイズを示すマーク（、、）も表示されます（P.12～13）。

元画像とスモールピクチャーの関係：P.126
スモールピクチャーのファイル名：P.127

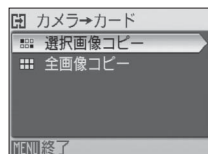
画像コピー

内蔵メモリーから SD カードに、または SD カードから内蔵メモリーに、画像をコピーすることができます。

コピーの方向※を選んで

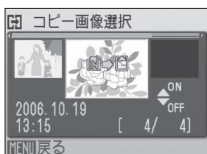
㊍ ボタンを押す

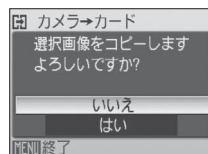
※ IN→SD：内蔵メモリーから SD カードへ
SD→IN：SD カードから内蔵メモリーへ

2

コピーの方法を選んで

㊍ ボタンを押す

[選択画像コピー] →ステップ 3 へ
[全画像コピー] →ステップ 4 へ

3

コピーしたい画像を指定する

4

確認画面が表示される

5

[はい] を選んで ㊍ ボタンを押す

画像がコピーされます。

画像コピーについてのご注意

- SD カードがカメラに入っていない場合、このメニューを選ぶことはできません。
- 画像に付けた「音声メモ」(P.63) は画像と同時にコピーされますが、[音声レコード] の音声データはコピーされません。音声レコードのデータをコピーする方法については、P.57 をご覧ください。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像に対しては、画像コピー機能の動作は保証しておりません。

元画像とコピー画像の関係：P.126
コピー画像のファイル名とフォルダ名：P.127

カメラの基本設定—セットアップメニュー

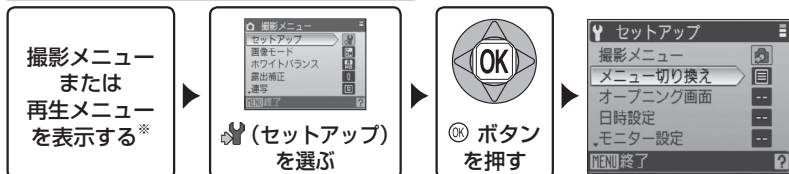
セットアップメニューには、以下の項目があります。すべての設定内容は、[**設定クリアー**]（P.110）を行うまで、記憶されます。

メニュー切り換え	メニューの表示形式を切り換えます。	P.102
オープニング画面	電源を ON にしたときに表示される「オープニング画面」について設定します。	P.102
日時設定	内蔵時計を合わせます。	P.102
モニター設定	画面の表示内容や明るさを設定します。	P.105
デート写し込み	画像に撮影日時を写し込む設定を行います。	P.106
AF 補助光	AF 補助光の点灯 / 非点灯を設定します。	P.107
操作音	操作音について設定します。	P.107
縦位置情報の記録	撮影時のカメラの縦横位置（姿勢）情報を記録するかどうかを設定します。	P.108
オートパワーオフ	待機状態に入るまでの時間を設定します。	P.108
メモリーの初期化 / カードの初期化	内蔵メモリー /SD カードを初期化します。	P.109
言語 /LANGUAGE	画面に表示される言語を設定します。	P.110
インターフェース	パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。	P.110
設定クリアー	各種設定を初期状態に戻します。	P.110
バージョン情報	ファームウェアの情報を表示します。	P.110

セットアップメニューを表示するには

撮影メニューまたは再生メニューを表示する※

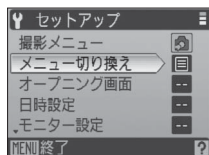
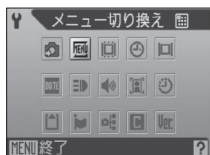
（セットアップ）を選ぶ

ボタンを押す

※ フェイスクリアーモード（P.36）、シーンモード（P.38）、動画モード（P.49）、音声レコードモード（P.55）の各メニューでも、（セットアップ）を選んでセットアップメニューに移ることができます。

セットアップメニューの初期設定：P.124

セットアップメニュー

メニュー切り換え

メニューの表示スタイルを下の 2 種類から選べます。

文字タイプ

アイコンタイプ

オープニング画面

電源 ON 時に表示される「オープニング画面」の設定を行います。

なし	電源を ON にしたときにオープニング画面は表示されず、すぐに撮影できる状態になります。
Nikon	COOLPIX のロゴマークが表示されます。
アニメーション	アニメーション画像が表示されます。
撮影した画像	内蔵メモリーまたは SD カード内の画像を、オープニング画面として登録できます。登録した画像はカメラに記憶されるため、その画像を削除したり SD カードを入れ換えたりしても、オープニング画面は変わりません。

日時設定

内蔵時計についての設定を行います。海外旅行などに便利なワールドタイム（時差を自動的に計算する）機能を使うこともできます。

日時	内蔵時計の日付と時刻を設定します。
ワールドタイム	海外旅行などに便利な機能です。訪問先のタイムゾーン（地域）を登録すると、自宅からの時差（P.128）を自動的に計算し、現地時間で撮影時刻を記録することができます。

日時を設定するには

1

［日時］を選んで ㊋ ボタンを押す

2

年を合わせる

3

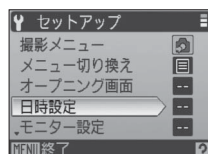
年と同様に日付と時刻を合わせる

4

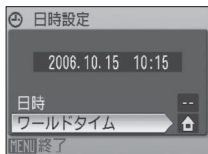
［年月日］の部分が点滅する

5

［年月日］の表示順を選ぶ

6

設定した日時に変更される

時差のある地域で使うには

1

［ワールドタイム］を選んで
㊋ ボタンを押す

2

✈（訪問先）マークを選ぶ

日時設定についてのご注意

カメラの内蔵時計は、カメラのバッテリーとは別の時計用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるか別売の AC アダプターキット EH-62A を接続すると、時計用電池が充電されます。充電には約 10 時間かかり、数日間、設定した日時を記憶することができます。

3

「訪問先」の時計に切り替わる

夏時間（サマータイム）制が実施されている地域でお使いの場合は、下記の「夏時間についてのご注意」をご覧ください。

4

［訪問先の設定］画面が表示される

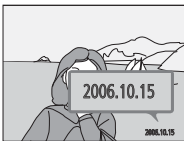
5

訪問先の地域を選ぶ

6

訪問先の地域が切り替わる

- MENU ボタンを押すと、撮影または再生に戻ります。
- 訪問先の時計に設定されているときは、撮影時の画面に ✈ マークが表示されます。

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、ステップ 2 で ⌂（自宅）マークを選んでください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、ステップ 2 で ⌂（自宅）マークを選び、訪問先と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

✔ 夏時間についてのご注意

サマータイム（夏時間）制が実施されている地域では、上のステップ 3 の後に、マルチセレクターを下に倒して［夏時間］を選び、㊍ ボタンを押してください。［夏時間］の前にあるチェックボックスがオン ☑ になり、時刻が 1 時間進みます。その後マルチセレクターを上に倒してステップ 3 に戻ってから、ステップ 4 にお進みください。

モニター設定

画面の表示内容や明るさを設定します。

<table>
<tr><td rowspan="6">モニター
表示設定</td><td colspan="3">撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。表示の意味については、P.12 ～ 13 をご覧ください。</td></tr>
<tr><td></td><td>撮影時</td><td>再生時</td></tr>
<tr><td>情報 ON</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>情報 AUTO</td><td colspan="2">［情報 ON］と同じ表示が 5 秒間続いた後、［情報 OFF］に切り替わります。</td></tr>
<tr><td>情報 OFF</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>方眼＋
情報 AUTO</td><td>モードでは［情報 AUTO］の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線が表示されます。
他の撮影モードでは［情報 ON］と同じです。</td><td>［情報 ON］と同じです。</td></tr>
<tr><td>画面の明るさ</td><td colspan="3">画面の明るさを 5 段階で調節できます。初期設定は［4］です。</td></tr>
</table>

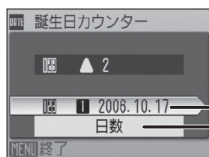
DATE デート写し込み

DPOF（P.128）に対応していないプリンターで日付入り画像をプリントしたいときなどに、便利な機能です。

年・月・日	左の形式で、撮影した画像の右下に、直接日時が写し込まれます。
年・月・日・時刻	
誕生日カウンター	子供の成長記録や植物の観察日記などに便利な機能です。

- ［デート写し込み］の設定状況は、撮影時の表示で確認できます（P.12 ～ 13）。［OFF］のときは、何も表示されません。

誕生日カウンターの使い方

特定の日付からの日数を画像に入れることができます。誕生日や結婚式などのイベントまでの日数をカウントダウン形式で入れたり、子供が産まれた日からの経過日数を入れるなど、さまざまな用途にお役立てください。

日付登録	1 ～3のいずれかを選んでマルチセレクターを**右**に倒すと、日付設定画面が表示されます。P.103 と同様の手順で日付を設定後、OK ボタンを押してください。日付は 3 種類まで登録できます。他の日付に切り換えるには、1 ～3のいずれかを選んで、OK ボタンを押してください。
表示選択	日付の表示形式を［日数］、［年・日］、［年・月・日］から選び、OK ボタンを押してください。

［デート写し込み］と［プリント指定］の違い：P.84

• 誕生日カウンターを使って撮影した画像には、以下のように日付が写し込まれます。

記念日まであと 2 日の場合

記念日から 2 日後の場合

AF 補助光

[OFF] にすると、AF 補助光が発光しなくなります（暗い場所などではピントが合いにくくなることがあります）。[オート] のときは、暗い場所などでは自動的に AF 補助光が発光します。ここでの設定にかかわらず、AF 補助光が発光しない場合があります（P.43）。

操作音

操作音について設定します。

設定音	設定音（電子音 1 回：設定完了時など）や警告音（電子音 3 回：禁止動作を行ったときなど）の ON/OFF を設定します。
シャッター音	シャッターをきったときの音量を、[大]、[標準] の 2 段階で設定します。[OFF] にするとシャッターをきってもシャッター音は鳴りません。ここでの設定にかかわらず、シャッター音が鳴らない場合があります（P.121）。
オープニング音	カメラ起動時のオープニング音を、[大]、[標準] の 2 段階で設定します。[OFF] にするとオープニング音は鳴りません。ここでの設定にかかわらず、USB ケーブルを接続してカメラの電源を ON にした場合、オープニング音は鳴りません。

デート写し込みについてのご注意（P.106）

• 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。

• 撮影後の画像を回転（P.98）しても、[デート写し込み] で写し込んだ日時の位置は変わりません。

• [画像モード]（P.86）が [TV（640）] の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらい場合があります。画像モードは [パソコン（1024）] 以上に設定してください。

• 年月日の並びは、セットアップメニューの [日時設定]（P.103）での設定と同じになります。

縦位置情報の記録

撮影時のカメラの縦横位置（姿勢）情報を画像に記録するかどうかを設定します。

- ［オート］にすると、カメラの液晶モニターや PictureProject で画像を再生するときに、記録した縦横位置情報を利用して、自動的に画像を回転表示します。
- ［OFF］にすると、画像に縦横位置情報を記録せずに、常に横位置で表示します。

オートパワーオフ

電源を ON にしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、バッテリーの消耗を抑えるために、自動的に液晶モニターが消灯します。ここでは、液晶モニターが消灯するまでの時間を［30 秒］、［1 分］、［5 分］、［30 分］から選べます。なお、液晶モニターが消灯してから、さらに無操作のまま約 3 分経過すると、自動的に電源が OFF になります。

オートパワーオフについてのご注意

- Pictmotion（P.72）やスライドショー（P.96）のエンドレス再生中、または別売の AC アダプターキット EH-62A を接続した場合は、ここでの設定に関わらず、約 30 分で液晶モニターが消灯します。また、メニューが表示されている場合は、約 3 分で消灯します。
- オートパワーオフが機能し、液晶モニターが消灯しているときは、電源ランプが点滅します。

IN / [カード] メモリー / カードの初期化

内蔵メモリーまたは SD カードを初期化（フォーマット）します。初期化すると、メモリー内またはカード内のデータはすべて消えてしまうので、必要なデータは事前にパソコンなどに転送してください。また、パソコンから SD カードに転送した Pictmotion の BGM（P.70）も消去されるので、必要に応じてもう一度 BGM を転送してください。

- 内蔵メモリー使用時は［メモリーの初期化］メニューが、SD カード使用時は［カードの初期化］メニューが表示されます。［カードの初期化］メニューでは、［高速初期化］（データが記録されている領域だけ初期化する）か［標準初期化］（カード全体を初期化する）を選んでください。

初期化についてのご注意

- 初期化中は、電源を OFF にしたり、バッテリーや SD カードを取り出したりしないでください。
- 新品のSDカードをお使いになるときは、必ずカメラで［標準初期化］を行ってください。
- SD カードは、撮影と削除を繰り返すと処理能力が落ちてくるため、定期的にカメラで［標準初期化］を行うことをおすすめします。
- バッテリー残量が少ないときは、［標準初期化］はできません。

言語 / LANGUAGE

画面に表示される言語を、「日本語」または「英語」の2種類から選べます。

インターフェース

パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。

USB	パソコンやプリンターとの通信方式を [PTP] と [Mass Storage] から選べます。詳しくは P.75(パソコンとの接続時)、P.80(プリンターとの接続時)をご覧ください。
ビデオ出力	ビデオの出力方式を [NTSC] と [PAL] から選べます。詳しくは P.74 をご覧ください。
転送設定	[ON] にすると、設定後に撮影するすべての画像に転送マーク(P.76)が付きます。

設定クリアー

[はい] を選ぶと、カメラの各種設定が初期状態にリセットされます。初期設定については、P.124 をご覧ください。

バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5
充電器	バッテリーチャージャー MH-61 ※
AC アダプター	AC アダプターキット EH-62A ※
USB ケーブル	USB ケーブル UC-E6
AV ケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14

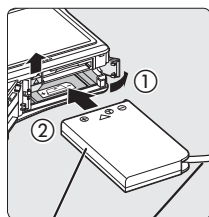
※ 日本国内専用電源コード（AC100V 対応）付属。日本国外で使用する場合は、別売の電源コードが必要です。

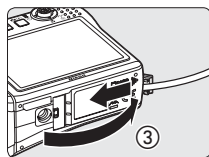
AC アダプターキット EH-62A の接続について

別売の AC アダプターキットを使用すると、カメラにパソコンやプリンターを接続するなどの長時間カメラを使用する場合に、家庭用コンセント（AC100V）からカメラに電源を供給することができます。

AC アダプターキットを取り付ける前に、カメラ本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

1 バッテリーカバー /SD カードカバーとパワーコネクタカバーを開けて（①）、パワーコネクター EP-62A を入れる（②）

- パワーコネクターは＋と－を正しい向きで入れてください。
- パワーコネクターは、バッテリーロックレバーを押し上げながら差し込んでください。奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーが下がり、バッテリーが固定されます。

2 バッテリー /SD カードカバーを閉じる

- パワーコネクターのコードがパワーコネクターカバーの開口部からでるように注意して（③）、バッテリー /SD カードカバーを閉じます。

カメラにパワーコネクター EP-62A を入れた後の AC アダプターキットの接続方法と使用上のご注意については、AC アダプターキットの使用説明書をご覧ください。

推奨 SD カード一覧

以下の SD メモリーカードの動作を確認しています。

SanDisk 製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB/256MB※、512MB※、1GB※
東芝製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB/128MB※、256MB※、512MB※
Panasonic 製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB/256MB※、512MB※、1GB※
Nikon 製	1GB※

※ 10MB/s の高速タイプ

- 上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。最新の動作確認済みメモリーカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

SD カードの取り扱い上のご注意

- SD カード以外のメモリーカードはお使いいただけません。
- 初めてお使いになる SD カードは、必ず事前に COOLPIX S10 で［標準初期化］(P.109) をしてください。
- 初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、
  ・カメラの電源を OFF にしないでください
  ・カードの着脱をしないでください
  ・バッテリーを取り出さないでください
  ・AC アダプターの電源コードを抜かないでください
  記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ	レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますので注意してください。
液晶モニター	ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと、液晶モニター表面の保護アクリルが傷つくことがありますのでご注意ください。
カメラ本体	ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。 ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、電源が OFF になっていることをご確認ください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が 60% を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は CCD の褪色や焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●保管する際には

長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また､カビや故障を防ぎ､カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーや AC アダプターを取り外すときは必ず電源を OFF にしてください

電源が ON の状態で、バッテリーや AC アダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニター表面の保護アクリルが傷つく原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は､ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●スミアーについて

明るい被写体を写すと、液晶モニター画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミアー現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

●AF 補助光について

AF 補助光（P.8、31）に使用されている LED（発光ダイオード）は、以下の IEC 規格に準拠しています。

クラス1 LED製品
IEC60825-1 Edition 1.2-2001

●カメラを持ち歩くときにレンズキャップのキャップ部分を持たないでください。

レンズキャップをカメラに取り付けた状態でキャップ部分だけを持たないでください。落下などの事故によるカメラやレンズキャップの破損の原因となります。

バッテリーについて

●使用上のご注意

- 長時間お使いになったバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が 0 ～ 40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。充電は室温（5 ～ 35℃）で行ってください。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

●充電について

撮影の前に、充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がる場合がありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなる場合は、バッテリーの温度が下がるのを待ってから、充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

●予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、日本国外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーをお使いになると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は充分に充電されたバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互にお使いください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻るとお使いいただける場合があります。

●バッテリー接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、ご注意ください。

●残量について

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチの ON/OFF を繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

●保管について

- お使いにならないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。カメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れ続けることで過放電になり、使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーをしばらくお使いにならないときは、使い切った状態で保管してください。
- 長期間保管するときは、年に 1 回程度、充電してから使い切り、保管してください。
- 付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が 15 ～ 25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

●寿命について

充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお求めください。

●リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは、再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力ください。端子部にテープなどを貼り付けて絶縁させてから、ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

Li-ion

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下の通りです。

表示	意味	対処法	
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	102
	バッテリー残量が少なくなりました。	バッテリーの充電や交換の準備をしてください。	14、16
電池残量がありません	バッテリー残量がありません。	バッテリーを充電または交換してください。	14、16
AF● （赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	•ピントを合わせ直してください。 •フォーカスロック撮影をお試しください。	24 93
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	—
カードがロック されています	SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	18
カードが入っていません	Pictmotion モードで、SD カードが取り出されました。	SD カードを入れてください。	18
このカードは使用 できません カードに異常があります	SD カードへのアクセス異常です。	•動作確認済みのカードをお使いください。 •カードの端子部分が汚れていないかご確認ください。 •カードが正しく挿入されているかご確認ください。	112 — 18
初期化されていません 初期化する いいえ	SD カードが、COOLPIX S10 用に初期化されていません。	画面の指示にしたがって、SD カードを初期化してください。	19
メモリー残量が ありません /	データを記録する空き容量がありません。	•画像モードを変更してください。 •不要な画像を削除してください。 •SD カードを交換してください。 •SD カードをカメラから取り出し、内蔵メモリーをお使いください。	86 59、97 18 19

表示	意味	対処法	
画像を保存できません IN / □	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	109
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	SD カードを交換するか、内蔵メモリー /SD カードを初期化してから、[設定クリアー] を行ってください。	18 109 110
	編集できない画像を編集しようとしました。	トリミングや D- ライティング、スモールピクチャーが可能な条件をご確認ください。	126
	オープニング画面に登録できない画像です。	スモールピクチャーやトリミングで作成した画像で、画像サイズが 320 × 240 以下のものは、登録できません。	—
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	59、97
音声を登録できません。 IN / □	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	SD カードを交換するか、内蔵メモリー /SD カードを初期化してから、[設定クリアー] を行ってください。	18 109 110
動画記録できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速い SD カードに交換してください。	112
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	—	—
音声データがありません	録音された音声データがありません。	—	—
インデックスがありません	インデックスが付いていない音声データの再生時に ⏮ または ⏭ を選択しました。	音声の録音中にマルチセレクターを**上**、**下**、**左**、**右**に倒して、インデックスを付けてください。	—
このファイルは表示できません	パソコンや他社のカメラで作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。	—
このデータは再生できません			
表示可能な画像がありません	オープニング画面に登録できる画像がありません。	—	—
	スライドショーで表示できる画像がありません。	—	—
Pictmotion 作成エラー	Pictmotion 用の画像が選ばれていません。	Picmotion に使う画像を選んでください。	68
Pictmotion 再生エラー	Pictmotion のデータが壊れています。	エラーが発生した Picmotion を削除してください。	72
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除してください。	97

表示	意味	対処法	👁
この画像はすでに編集されています。D-ライティングはできません	D-ライティングができない画像に対して、D-ライティングを行おうとしました。	画像の編集で作成された画像に対して、D-ライティングを行うことができません。	62
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	—	102
レンズエラー	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	20、21
通信エラー	パソコンやプリンターとの通信中に、USB ケーブルが外れました。	パソコンに警告メッセージが表示された場合、[OK] をクリックして PictureProject を終了してください。カメラの電源を OFF にしてケーブルを再接続してから、もう一度転送してください。	75
	お使いのパソコンの OS とカメラの USB 通信方式の組み合わせでは、転送できません。	セットアップメニューの [インターフェース] → [USB] の設定をご確認ください。	77、110
	PictureProject が起動していません。	—	—
転送マーキングされた画像がありません	転送マーク設定された画像がないのに、パソコンに画像を転送しようとしました。	転送マークを設定してから転送してください。	97
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンの接続状況やバッテリー残量をご確認ください。	21、75
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源を OFF にしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源を ON にしてください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	16、20、21
プリンターエラー プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	用紙切れなどエラーの原因を取り除いた後、[継続] を選んで ㊍ ボタンを押すと、プリントが再開されます (エラー内容によっては、[継続] を選べない場合があります)。	—

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービスセンターにお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示、設定、電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	参照ページ
液晶モニターに何も映らない	•電源が入っていません。 •バッテリー残量がありません。 •レンズキャップのキャップ部分が閉じています。キャップ部分を開けてください。 •フラッシュランプが赤色点滅している場合は、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 •カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されています。 •AV ケーブルが接続されています。 •節電のため、液晶モニターの表示が暗くなっています → カメラのボタンを操作してください。 •微速度撮影中やインターバル撮影中は液晶モニターが消灯します。	20 21 10 30 75 74 21 50、89
液晶モニターがよく見えない	•節電のため、液晶モニターの表示が暗くなっています。→ カメラのボタンを操作してください。 •液晶モニターの明るさを調整してください。 •液晶モニターが汚れています。	21 105 113
カメラの電源が突然切れる	•バッテリー残量がありません。 •無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 •低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しない場合があります。	21 108 130、131
SD カードの［標準初期化］ができない	バッテリー残量が不足しています。	21、109
撮影日時が正しく表示されない	•セットアップメニュー［日時設定］が正しく設定されていません（日時設定を行っていない場合（撮影時に時計マークが点滅している場合）は、撮影日時は「0000.00.00 00:00（静止画）」、「2006.09.01 00:00（動画）」と記録されます）。 •内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	102

付録

●デジタルカメラの特性について

きわめて希に、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源を OFF にしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源を ON にしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたは SD カードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［モニター設定］の［モニター表示設定］が［情報 OFF］になっています。	105
［デート写し込み］が選べない	セットアップメニュー［日時設定］が設定されていません。	102
［デート写し込み］を有効にしたのに、日付が印字されない	以下の場合、日付は印字されません。 •シーンモードの 🏃（スポーツ；［スポーツマルチ連写］を除く）、🏛（ミュージアム）、⋈（パノラマアシスト）のとき •撮影メニューの［連写］モードが［連写］のとき、または［BSS］が［OFF］以外のとき •動画	 37 89、91 48
設定内容が初期状態に戻ってしまった	バックアップ電池が切れたため、設定がリセットされました。	103

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
撮影できない	•再生モードになっている場合は、📷▶ ボタンを押してください。 •メニューが表示されている場合は、MENU ボタンを押してください •バッテリー残量がありません。	58 26 21
ピントが合わない	•ピントが合いにくい被写体（明暗差がはっきりしない / 遠くのものと近くのものが混在する / 連続した繰り返しパターン / 極端な輝度差がある / 背景に対してメインの被写体が小さい / 絵柄が細かい）を撮影している場合は、フォーカスロックを利用して撮影してください。 •セットアップメニュー［AF 補助光］が［OFF］になっています。 •電源を入れ直してください。	93 107 20、21
画像がブレる	•手ブレ補正（VR）モードを ON にしてください。 •フラッシュをお使いください。 •BSS（ベストショットセレクター）をお使いください。 •三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	34 30 91 9、32
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを ⊛（発光禁止）にしてください	30
フラッシュが発光しない	•フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 •フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 •🎥 モード（［微速度撮影 640 ★］を除く）になっています。 •撮影メニュー［連写］モードが［連写］か［マルチ連写］、または［BSS］が［OFF］以外になっています。	30 43 48 89、91
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	48
電子ズームが使えない	撮影メニュー［連写］モードが［マルチ連写］のときは使えません。	89

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
［画像モード］を選べない	撮影メニュー［連写］モードが［マルチ連写］のとき、シーンモード（スポーツ）の［スポーツマルチ連写］のときは、設定できません。	41、89
シャッター音が鳴らない	•セットアップメニュー［操作音］→［シャッター音］が［OFF］になっています。 •シーンモードの（スポーツ）のとき、モード時、撮影メニューの［連写］モードが［単写］以外のとき、または［BSS］が［OFF］以外のときは、シャッター音は鳴りません。	107 41、48、89、91
AF 補助光が光らない	•セットアップメニュー［AF 補助光］が［OFF］になっています。 •一部のシーンモードでは発光しません。	107 43
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	113
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	87
画像がザラつく	•被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO 感度が高くなっています。 → フラッシュをお使いください。 → ISO 感度を固定してください。 → ノイズ除去機能付きのシーンモードで撮影してください。	 30 92 43
画像が暗すぎる	•フラッシュモードが（発光禁止）になっています。 •フラッシュが指などでさえぎられています。 •被写体にフラッシュの光が届いていません。 •レンズキャップがレンズにかかっています。キャップ部分をレンズにかからない位置まで開いてください。 •露出補正値が低すぎます。 •逆光で撮影しています。シーンモードの（逆光）にするか、フラッシュモードを（強制発光）にして撮影してください。	30 22 30 22 36、47、88 30、44
画像が明るすぎる	露出補正値が高すぎます。	36、47、88
赤目以外の部分が補正された	フラッシュモードが（赤目軽減自動発光）のときや、フェイスクリアーモード時、シーンモードの（ポートレート）や（夜景ポートレート）で撮影したときには、ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合があります。このような場合は、上記以外の撮影モードで、フラッシュモードを（自動発光）か（強制発光）にして撮影してください。	30、35、40、41

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
画像を再生できない	•パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、名前が変更されました。 •微速度撮影中やインターバル撮影中には画像を再生できません。	— 50、89
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	—

付録

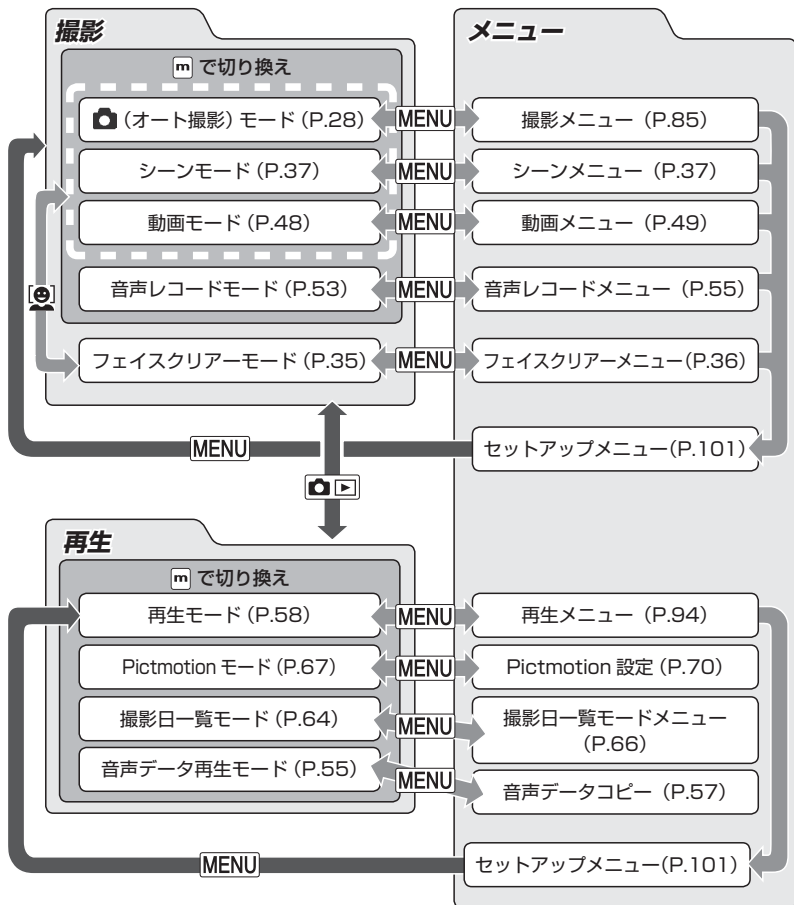
こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
音声メモを録音できない	動画には音声メモを付けられません。	52
トリミング、D-ライティング、スモールピクチャーの作成ができない	•動画は編集できません。 •トリミングや D- ライティング、スモールピクチャーが可能な条件をご確認ください。 •COOLPIX S10 以外のカメラで撮影した画像に対するこれらの操作については、動作を保証しておりません。また、COOLPIX S10 で作成したこれらの画像を、COOLPIX S10 以外のカメラで再生した場合についても動作を保証しておりません。	52 126 —
Pictmotion が作成できない	COOLPIX S10 以外のカメラで撮影した画像を使って Pictmotion を作成する操作については、動作を保証しておりません。また、COOLPIX S10 で作成した Pictmotion を、COOLPIX S10 以外のカメラで再生した場合についても動作を保証しておりません。	—
「ユーザー音楽」が表示されない	•SD カード内にユーザー音楽がありません。 •ユーザー音楽を保存した SD カードが初期化または交換されました → もう一度パソコンから BGM を転送してください。	70、71
画像がテレビに映らない	セットアップメニュー［インターフェース］の［ビデオ出力］が正しく設定されていません。	74、110
カメラをパソコンに接続しても、PictureProject が自動起動しない	•カメラの電源が OFF になっています。 •バッテリー残量がありません。 •USB ケーブルが正しく接続されていません。 •セットアップメニュー［インターフェース］→［USB］が正しく設定されていません。 •パソコンにカメラが正しく認識されていません。 PictureProject については、付属の PictureProject ソフトウェア使用説明書（CD-ROM）をご参照ください。	20 21 75 77 —
転送マークを付けられない	1000 コマ以上に転送マークを付けることはできません。PictureProject の［転送］ボタンで転送してください。	76
転送マークを付けたのに、認識されない	COOLPIX S10 以外のカメラで転送設定した画像です。もう一度 COOLPIX S10 で転送設定を行ってください。	97
画像を転送できない	以下の場合、カメラの ㊊ ボタンでは転送できません。PictureProject の［転送］ボタンで転送してください。 •内蔵メモリー使用時で、［USB］が［Mass Storage］の場合 •SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されている場合	76、77 18

付録

資料集

主な機能の切り換え方法

主な機能の関係は以下のようになっています。主な機能だけを抜粋しています。

付録

初期設定一覧

セットアップメニューの［設定クリアー］（P.110）で初期設定に戻る項目は、以下の通りです。

撮影の基本機能（P.30 ～ 36）	
フラッシュモード	自動発光
マクロモード	OFF
セルフタイマー	OFF
手ブレ補正（VR）モード	ON
フェイスクリアーメニュー	―
露出補正	0
ポートレート効果	標準

シーンモード（P.37 ～ 47）	
シーンモード	ポートレート
モードのアシスト機能	ポートレート
モードのアシスト機能	風景
モードのアシスト機能	スポーツ
モードのアシスト機能	夜景ポートレート
シーンモードの露出補正	0

動画モード（P.48 ～ 52）	
動画設定	カメラ再生 320
微速度撮影のインターバル設定	30 秒
AF-MODE	シングル AF
電子式手ブレ補正	OFF

Pictmotion の設定（P.70 ～ 71）	
BGM	カノン
スタイル	モーション
画像の再生方法	ランダム再生
画像 / 音楽の優先	画像繰り返し
選択枚数	10 枚選択

撮影メニュー（P.85 ～ 93）	
画像モード	6M 標準（2816）
ホワイトバランス	オート
露出補正	0
連写	単写
インターバル撮影のインターバル設定	30 秒
BSS	OFF
AE-BSS の設定	白とび最小
ISO 感度設定	オート
ピクチャーカラー	標準カラー
AF エリア選択	中央

再生メニュー（P.94 ～ 100）	
スライドショー	―
インターバル設定	3 秒

セットアップメニュー（P.101 ～ 110）	
メニュー切り換え	文字タイプ
オープニング画面	なし
モニター設定	―
モニター表示設定	情報 ON
画面の明るさ	4
デート写し込み	OFF
AF 補助光	オート
操作音	―
設定音	ON
シャッター音	標準
オープニング音	OFF
縦位置情報の記録	オート
オートパワーオフ	1 分
転送設定	ON

その他の設定	
音声レコードの音質設定	高
ダイレクトプリントの用紙設定	プリンターの設定

- ［設定クリアー］を行うと、ファイル番号の連番（P.127）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー /SD カード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル名の連番を 0001 に戻したいときは、内蔵メモリー / SD カード内の画像をすべて削除（P.97）してから、［設定クリアー］を行ってください。
- 以下の項目（いずれもセットアップメニュー）は、［設定クリアー］を行っても初期設定には戻りません。
  - ［日時設定］（P.102）、［誕生日カウンター］の登録日（P.106）、［言語］（P.110）、［インターフェース］（P.110）の［USB］と［ビデオ出力］

画像モードと記録可能コマ数（P.86）

それぞれの画像モードで、内蔵メモリーや256MBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なる場合があります。

画像モード	内蔵メモリー（約16 MB）	SDカード（256MB）	プリント時の大きさ（出力解像度300dpiの場合）
高画質（2816★）	5コマ	約83コマ	約24×18cm
標準（2816）	10コマ	約164コマ	約24×18cm
エコノミー（2048）	20コマ	約302コマ	約17×13cm
パソコン（1024）	68コマ	約1028コマ	約9×7cm
TV（640）	128コマ	約1928コマ	約5×4cm

※ 記録可能コマ数が10000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

動画設定と記録可能時間（P.48）

それぞれの動画設定で、内蔵メモリーや256MBのSDカードを使って連続して撮影できるおおよその時間は以下のとおりです。SDカードの種類や撮影条件によって、数値は増減することがあります。

動画設定	内蔵メモリー（約16MB）	SDカード（256MB）
TV再生640★	14秒	約3分35秒
カメラ再生320★	28秒	約7分15秒
カメラ再生320	56秒	約14分15秒
Pictmotion320	56秒	1分
長時間再生160	3分7秒	約47分5秒
微速度撮影640★	170フレーム	1800フレーム

音質設定と記録可能時間（P.53）

それぞれの音質設定で、内蔵メモリーや256MBのSDカードに記録できるおおよその撮影時間は以下のとおりです。SDカードの種類や録音条件によって、数値は増減することがあります。

音質設定	内蔵メモリー（約16MB）	SDカード（256MB）
標準	34分52秒	5時間
高	12分39秒	約3時間11分

同時に設定できる機能の制限（P.85）

モードでは、以下のように、複数の機能を同時に設定できない場合があります。

フラッシュモード	[連写] モードを [連写] または [マルチ連写] にするか、[BSS] を [ON] または [AE-BSS] にすると、フラッシュモードは ⓢ（発光禁止）に固定されます。 [連写] モードを [単写] か [インターバル撮影] に戻す、または [BSS] を [OFF] に戻すと、元のフラッシュモードに戻ります。
セルフタイマー	セルフタイマーを ON にすると、 • [連写] モードは設定に関わらず、[単写] として動作します。 • [BSS] は設定に関わらず、[OFF] として動作します。 セルフタイマーを OFF にする（またはセルフタイマー撮影が完了する）と、[連写] モードまたは [BSS] の設定が元に戻ります。
連写	[連写] モードを [連写] [マルチ連写] [インターバル撮影] のいずれかにすると、[BSS] は [OFF] に変更されます。 [連写] モードを [単写] に戻しても、[BSS] は [OFF] のままです。
BSS	[BSS] を [ON] または [AE-BSS] にすると、[連写] モードは [単写] に変更されます。 [BSS] を [OFF] に戻しても、[連写] モードは [単写] のままです。
ホワイトバランス	[ピクチャーカラー] を [白黒] [セピア] [クール] のいずれかにすると、[ホワイトバランス] は [オート] に固定されます。 [ピクチャーカラー] を [標準カラー] または [ビビッドカラー] に戻すと、元の [ホワイトバランス] の設定に戻ります。

画像編集の制限、元画像と編集画像の関係について

- 画像編集（トリミング：P.61、D- ライティング：P.62、スモールピクチャー：P.99）には、以下のような制限があります。
  - ・トリミングやスモールピクチャーで作成された画像に対して、再度トリミングを行うことやスモールピクチャーを作成することはできません。
  - ・画像編集によって作成された画像に対して、D- ライティングを行うことはできません。
- 画像編集によって作成された画像は、元画像から転送マークの設定だけを引き継ぎ、プリント指定とプロテクト設定は引き継ぎません。
- 画像コピー（P.100）でコピーした画像は、元画像のプロテクト設定だけを引き継ぎます。

ファイル名とフォルダ名

このカメラで撮影した静止画や動画、音声メモには、以下のようなファイル名が付けられます。

DSCN0001.JPG

識別子（カメラの画面には表示されません）：DSCN

ファイル番号（0001 からの連番で付けられます）：0001

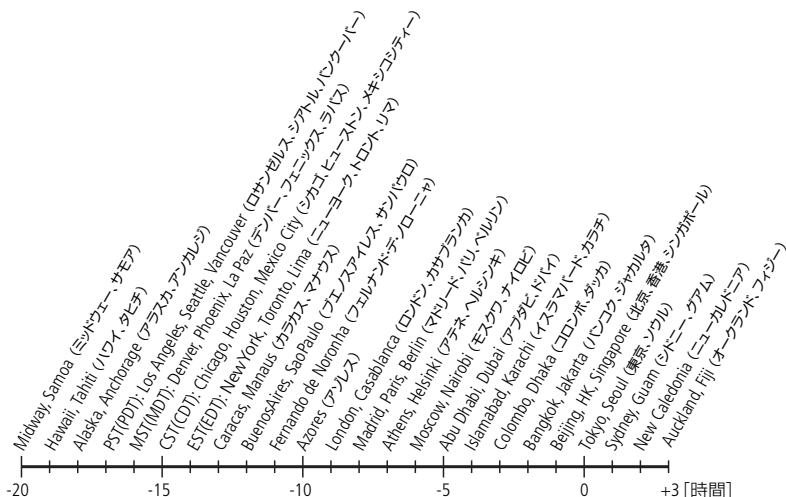
拡張子（ファイルの種類を示します）：.JPG

識別子	
加工されていない静止画や動画、音声レコード	DSCN
トリミング画像	RSCN
スモールピクチャー	SSCN
D- ライティング画像	FSCN
微速度撮影で撮影した画像	INTN

拡張子	
静止画	.JPG
動画	.MOV
音声メモ / 音声レコード	.WAV

- ファイルが保存されるフォルダは、「3 桁のフォルダ番号 + NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダ内のファイル数が 200 に達すると、新しいフォルダが作られます（例：100NIKON → 101NIKON）。フォルダ内のファイル番号が 9999 に達した場合も新しいフォルダが作られ、ファイル番号は 0001 に戻ります。
- 音声レコード（P.53）のデータは「SOUND」「SOUNE」フォルダに保存されます。
- パノラマアシストモード（P.45）では、撮影のたびに「3 桁のフォルダ番号 + P_XXX」という名前のフォルダ（例：101P_001）が作られ、ファイル番号 0001 から始まる一連の画像が保存されます。
- インターバル撮影（P.89）では、撮影のたびに「3 桁のフォルダ番号 + INTVL」という名前のフォルダ（例：101INTVL）が作られ、ファイル番号 0001 から始まる一連の画像が保存されます。
- 画像データや音声データを内蔵メモリーと SD カードの間でコピーする場合（P.57、100）、ファイル名は以下のようになります。
  - ［選択画像コピー］または［選択データコピー］：使用中のフォルダ（または次回の撮影で使われるフォルダ）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよび SD カード内の最大ファイル番号 + 1」からの連番で付けられます。
  - ［全画像コピー］または［全データコピー］：データはフォルダごとにコピーされます。フォルダ名は「コピー先の最大フォルダ番号 + 1」から連番で付けられます。ファイル名は変わりません。
- Pictmotion（P.67）は「NKSS」フォルダ内に保存されます。作成のたびに「NKSS」フォルダ内に「3 桁のフォルダ番号 + PRJCT」という名前のフォルダ（例：101PRJCT）が作られ、その中にその Pictmotion で使う画像と音楽ファイルがまとめて保存されます。
- フォルダ番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が 9999 に達した場合は、それ以上撮影できません。SD カードを交換するか、内蔵メモリー / SD カードを初期化（P.109）してください。

タイムゾーンについて（P.102）

タイムゾーンと時差の関係は以下の通りです。1 時間未満の単位の時差がある場合は、［日時設定］（P.102）で正確な時刻に合わせてください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system（DCF）：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF（Digital Print Order Format）：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif（Exchangeable image file format）Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご参照ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

主な仕様

ニコン デジタルカメラ COOLPIX S10

項目	内容
型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	6.0 メガピクセル
撮像素子	1/2.5 型原色 CCD、総画素数 6.18 メガピクセル
画像モード	• 2816 × 2112［高画質（2816 ★）/ 標準（2816）］ • 2048 × 1536［エコノミー（2048）］ • 1024 × 768［パソコン（1024）］ • 640 × 480［TV（640）］
レンズ	光学 10 倍ズームニッコールレンズ
焦点距離	f=6.3 － 63mm（35mm 判換算 38 － 380mm 相当の撮影画角）
絞り	F3.5
レンズ構成	9 群 12 枚
手ブレ補正	イメージセンサーシフト方式
電子ズーム	最大 4 倍（35mm 判換算で約 1520mm 相当の撮影画角）
オートフォーカス	コントラスト検出方式、AF 補助光付き
撮影距離	• レンズ前約 30cm ～∞ • マクロモード時は約 4cm［ズームの広角側］～∞
AF エリア	中央、マニュアル（99 点）
AF 補助光	クラス 1 LED 製品（IEC60825-1 Edition 1.2-2001） 最大出力値 1500µW
液晶モニター	広視野角 2.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶、230,000 画素、輝度調節機能付き（5 段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約 97%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約 100%（対実画面）
記録形式	
記録媒体	内蔵メモリー（約 16MB）、SD メモリーカード
画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF 準拠
ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline 準拠、動画：QuickTime、音声：WAV
露出	
測光方式	マルチパターン測光（256 分割）、中央部重点測光、スポット測光、AF スポット測光
露出制御	プログラムオート、露出補正（± 2 段の範囲で 1/3 段刻み）可能

項目	仕様
露出連動範囲（ISO100 換算）	＋ 3.7 ～＋ 17.5EV
シャッター	メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
シャッタースピード	2 ～ 1/1000 秒
絞り	電磁駆動による絞り羽根制御および ND フィルター選択方式
制御段数	5（F3.5、F4.0、F5.6、F6.8、F13.6）
ISO 感度	ISO50、100、200、400、800、オート（ISO50 ～ 800）
セルフタイマー	約 10 秒、約 3 秒
内蔵フラッシュ	
調光範囲	約 0.3 ～ 5.4m（広角側）、約 1.0 ～ 5.4m（望遠側）
調光方式	自動調光制御
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PAL から選択可能
入出力端子	オーディオビデオ出力 / デジタル端子（USB）
言語	日本語、英語の 2 言語
電源	• Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5（リチウムイオン充電池；付属）× 1 本 • AC アダプターキット EH-62A
撮影可能コマ数（電池寿命）※	約 300 コマ（EN-EL5 使用時）
寸法	約 112.5（W）× 74.5（H）× 40.5（D）mm（突起部除く）
質量	約 220g（バッテリー、SD カード、レンズキャップ除く）
動作環境	
温度	0 ～ 40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

※ CIPA 規格（電池寿命測定方法を定めたカメラ映像機器工業会の規格）によるものです。測定条件は、25℃、撮影ごとにズーム、2 回に 1 回の割合でフラッシュ撮影、画像モード「標準」です。

• 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、リチャージャブルバッテリー EN-EL5 をフル充電で使用時のものです。

バッテリーチャージャー MH-61

電源	AC100 ― 240V　50/60Hz　0.12 ― 0.08A
定格入力容量	11 ― 16VA
充電出力	DC4.2 V/950mA
適応電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5
充電時間	約 2 時間　※残量のない状態からの充電時間
使用温度	0 ～ 40℃
寸法（突起部除く）	約 67（W）× 26（H）× 67（D）mm
コード長	約 1800mm
質量	約 70g（電源コードを除く）

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5

形式	充電式リチウムイオン充電池
定格容量	3.7V/1100mAh
使用温度	0 ～ 40℃
寸法（突起部除く）	約 36（W）× 54（H）× 8（D）mm
質量	約 30g（端子カバーを除く）

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

索引（[ ] 内の項目はメニュー項目です）

記号 / マーク

英数

あ

か

さ

付録

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SD カードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後 5 年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社のホームページでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】

太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：	年　　月　　日
お買い上げ日：	年　　月　　日
製品名：	シリアル番号：
フリガナ お名前：	
連絡先ご住所：□自宅　　□会社 〒 TEL: FAX:	
ご使用のパソコンの機種名： メモリー容量： OS のバージョン： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：	 ハードディスクの空き容量： ご使用のインターフェースカード名：
問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度： （おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）	

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

<ニコンカスタマーサポートセンター>

全国共通
☎0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間:9:30〜18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

音声によるご案内に従い、ご利用窓口の番号を入力してください。お問い合わせ窓口の担当者がご質問にお答えいたします。

修理サービスのご案内

修理サービスのご案内を下記URLにて行っております。
インターネットを利用して修理サービスの申し込みができます。
「修理見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/service/repair/index.htm

<インターネットを利用できない方のお問合せ>

ニコンカメラ販売(株)　サービス部　電話　045–500–3050
営業時間　9:30〜17:30　(土·日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを除く毎日)

株式会社ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
SB6H01(10)
6MA21410--